EH503 取扱説明書 *目次*

目次

安全情報

	稲妻のような矢印がある正三角形のマークは、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」があるため、感電の危険があることをユーザに警告するためのものです。
	正三角形に感嘆符があるマークは、本装置の説明書に記載されている操作と保守（修理）に関する重要な指示に注意を喚起するものです。

警告：火災や感電の危険を回避するため、プロジェクタを雨や湿気に曝さないでください。筐体内には危険な高電圧が存在します。筐体を開けないでください。

修理は資格のある技術者に依頼してください。

クラス B 電波放射規制

このクラス B デジタル装置は、カナダの電波干渉発生装置に関する規制をすべて満たしています。

重要な安全上の指示

1. このプロジェクタを使用する前に、この説明書をお読みください。
2. この説明書を今後の参照用に保管してください。
3. すべての指示に従ってください。
4. 製造元の指示に従って設置してください：
   A. 通気口をふさがないでください。プロジェクタの確実な動作を保証し、過熱からプロジェクタを守るため、適切な通気を妨げない位置と場所にプロジェクタを置いてください。例えば、通気口をふさぐ可能性があるベッドやソファ、カーペット、その他類似の表面上にプロジェクタをを配置しないでください。本棚や戸棚など、通気口からの気流を妨げる可能性がある閉ざされた空間にプロジェクタを置かないでください。
   B. 水や湿気の近くでこのプロジェクタを使用しないでください。火災や感電の危険を回避するため、プロジェクタを雨や湿気に曝さないでください。
   C. 放熱器やヒーター、ストーブ、その他熱を発生する装置（増幅器を含む）などの**熱源の近くに設置しないでください**。
5. 乾いた布のみで掃除してください。
6. 製造元の指定する同梱品または付属品のみを使用してください。

7. 修理はすべて資格のある技術者に依頼してください。プロジェクタに次のような破損が生じた場合、修理が必要です：
   - ❒ 電源コードまたはプラグが破損した。
   - ❒ 装置の中に液体をこぼした、または物品を落とした。
   - ❒ プロジェクタが雨または湿気に曝され、通常通りに動作しない、またはプロジェクタが落下した。

   このプロジェクタを自分で修理しようとしないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険な電圧やその他危険に曝される場合があります。お近くの認定サービスセンターをご案内しますので、オプトマにご連絡ください。

8. 危険な電圧ポイントに触れたり、部品の短絡を発生して火災や感電を引き起こすことがあるため、プロジェクタに物品や液体が入らないようにしてください。

9. プロジェクタの筐体で安全関連の表示をご確認ください。

10. 資格のあるサービス技術者を除き、プロジェクタの調整または修理を行わないでください。

注意

本ユーザガイドで推奨されるすべての警告、注意、保守に従ってください。

- 警告 - ランプがオンのときプロジェクタのレンズを覗き込まないでください。明るい光が目に傷害を与える場合があります。
- 警告 - 火災や感電の危険を回避するため、このプロジェクタを雨や湿気に曝さないでください。
- 警告 - 感電の危険があるため、プロジェクタを開けたり、分解したりしないでください。
- 警告 - ランプを交換するときは、ユニットが冷却された後、交換方法に従って行ってください。83 ページを参照してください。
- 警告 - このプロジェクタはランプの寿命を検出します。警告メッセージが表示されたらランプを交換してください。
- 警告 - ランプモジュールの交換後、オンスクリーンディスプレイの「オプション | ランプ設定」メニューから「ランプリセット」機能を使用してください（65 ページ参照）。
- 警告 - プロジェクタをオフにするとき、電源を抜く前に冷却サイクルが完了したことを確認してください。プロジェクタの冷却には90秒かかります。
- 警告 - プロジェクタの動作中はレンズキャップを使用しないでください。
- 警告 - ランプが寿命に近付くと、画面上に「ランプの使用時間がランプの寿命に近付いています」というメッセージが表示されます。ランプの交換のため、お近くの販売店またはサービスセンターにできるだけ早くご連絡ください。

メモ

❖ ランプが寿命に達すると、プロジェクタはランプモジュールを交換するまでオンにすることができません。ランプの交換は、83 ページの「ランプの交換」セクションに記載された手順に従ってください。

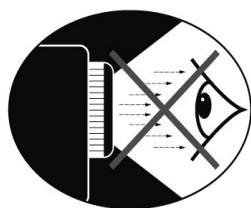
使用上の注意

すべきこと：

- お手入れの前に製品の電源を切ってください。
- 中性洗剤で湿らせた柔らかい布でディスプレイのハウジングを拭いてください。
- 長期間製品を使用しないときは、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。

すべきでないこと：

- ユニットの通気スロット及び開口部を塞がないでください。
- 研磨クリーナーやワックス、シンナーを使用してユニットのお手入れを行わないでください。
- 次の条件下では使用しないでください：
  - 極端に暑い、寒い、湿度の高い環境。環境室温が 5〜40°、相対湿度 10〜85%（最高）、結露のない環境を確保してください。
  - ゴミや埃の多い場所。
  - 強い磁場を形成する機器の付近。
  - 直射日光下。

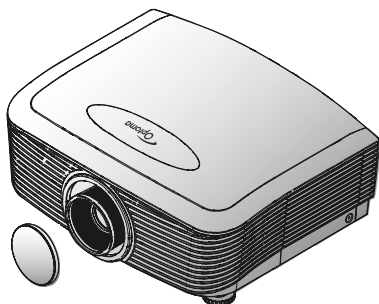
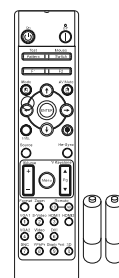
目の安全に関する警告

- プロジェクタの光線を直接覗き込むことは常に避けてください。
- できる限り光線に面して立たないようにしてください。できるだけ背中を光線に向けるようにしてください。
- プレゼンターが光線に立ち入る必要性を回避するため、棒やレーザーポインタを使用することを推奨します。
- スクリーンから観客への視線の外にプロジェクタを配置してください。これによりプレゼンターが観客を見るときプロジェクタのランプを見なくて済みます。これを達成するため、プロジェクタを床や台上に配置するよりも天井取り付けにするのが最善です。
- 教室でプロジェクタを使用する場合、生徒がスクリーン上で何かを指し示すよう求められたとき、適切に生徒を監督してください。
- 必要なランプ電力を最小にするため、室内のブラインドを用い、環境の明るさを低減してください。

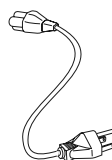
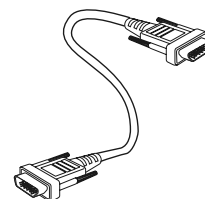
製品の特長

本製品は、0.65″ 1080P DLP® プロジェクターです。

- ◆ テキサス・インスツルメンツのシングルチップ DLP® 技術
- ◆ コンピュータ互換性：
アップルマッキントッシュ、iMac、VESA 規格：
UXGA、SXGA+、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA
- ◆ ビデオ互換性：
  - ■ NTSC、NTSC4.43
  - ■ PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
  - ■ SDTV および EDTV 対応
  - ■ HDTV 対応（720p、1080i、1080p）
- ◆ ユーザ定義による設定が可能な自動ソース検出
- ◆ フル装備されたIRリモコン
- ◆ ユーザフレンドリーな多言語オンスクリーンメニュー
- ◆ 先進的デジタルキーストン補正と高品質の全画面画像再スケーリング
- ◆ ユーザフレンドリーなコントロールパネル
- ◆ マッキントッシュと PC 対応
- ◆ HDMI 対応
- ◆ クローズドキャプション搭載
- ◆ DisplayPort対応
- ◆ 完全な3Dサポート
- ◆ エコAV消音
- ◆ ワイヤレスドングルサポート(VGAポート経由)
- ◆ USB充電器

同梱品の説明

このプロジェクタには次のアイテムが同梱されています。お買い上げのユニットが完全であるか確認してください。不足がある場合、お買い上げ店にすぐにご連絡ください。

レンズカバー付きプロジェクタ

IR リモートコントロール(単四電池2本)

EH503S1のみ付属
(ZD302　3D用メガネ)

電源コード 1.8m

VGAケーブル 1.8m

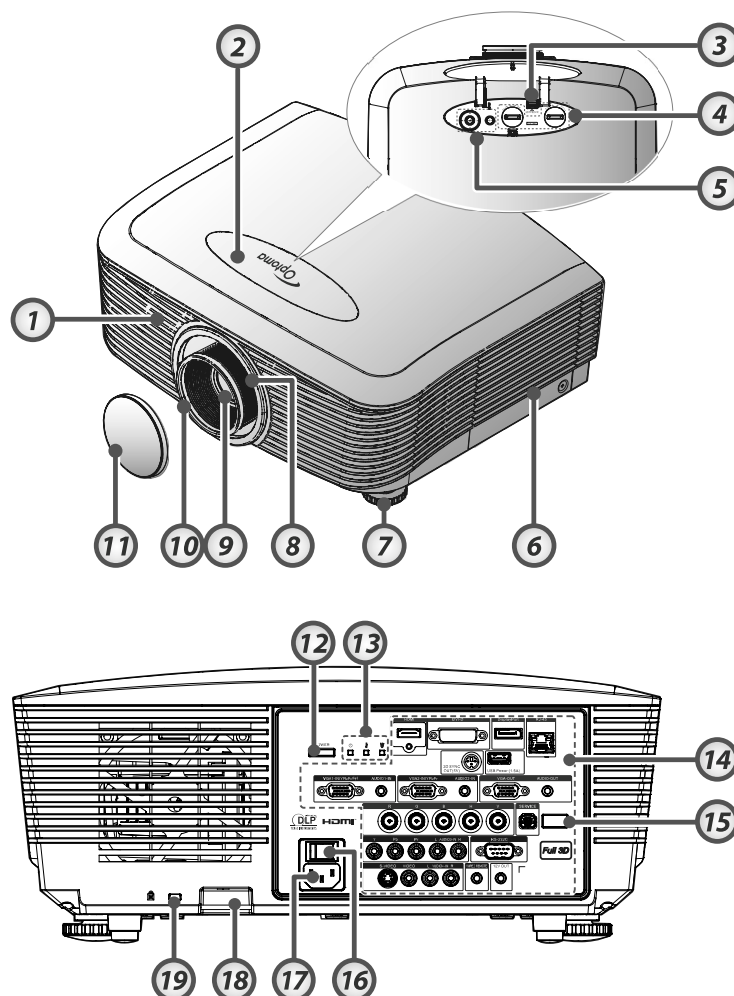
❖各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

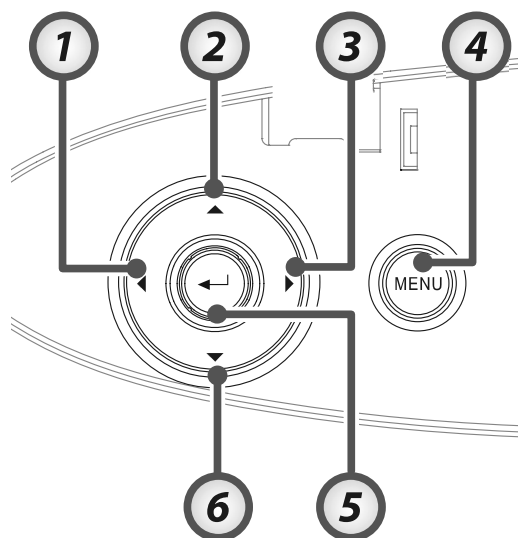
欧州の保証情報については、www.optomaeurope.com にアクセスしてください

文書：

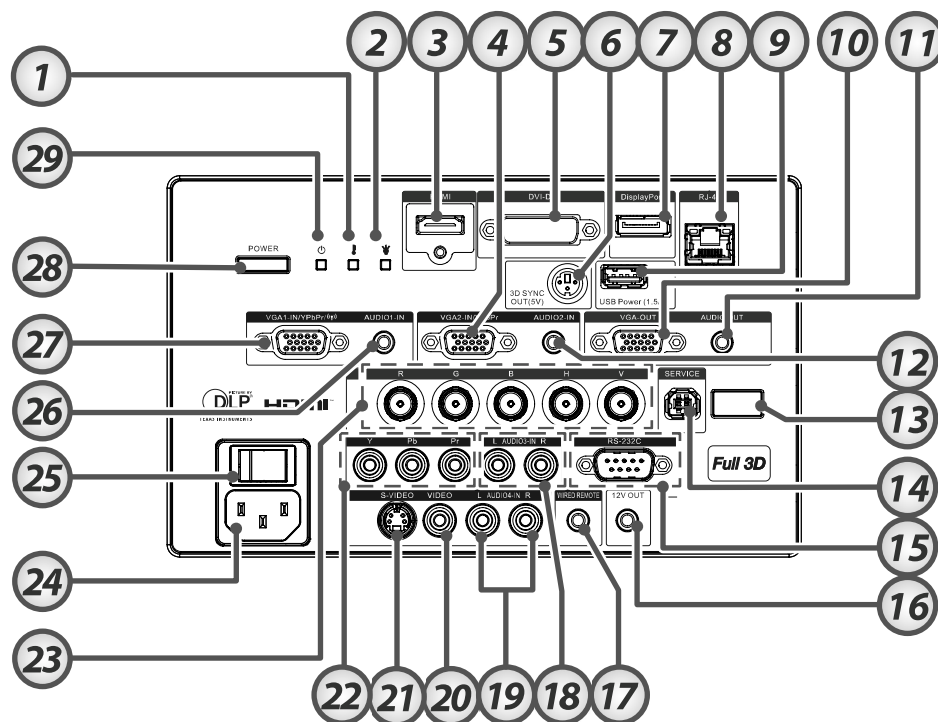
☑ 取扱説明書
☑ 保証書
☑ クイックスタートカード

製品概要

本体

1. 表側赤外線レシーバー
2. 上面カバー
3. レンズリリースボタン
4. 垂直および水平レンズシフト調整コントロール
5. コントロールパネル
6. ランプカバー
7. チルト調整フット
8. ズーム
9. レンズ
10. フォーカス
11. レンズキャップ
12. 電源ボタン
13. LED インジケータ
14. 入/出力接続端子
15. 裏側赤外線レシーバー
16. 主電源スイッチ
17. 電源ソケット
18. 安全バー
19. Kensington™ ロック

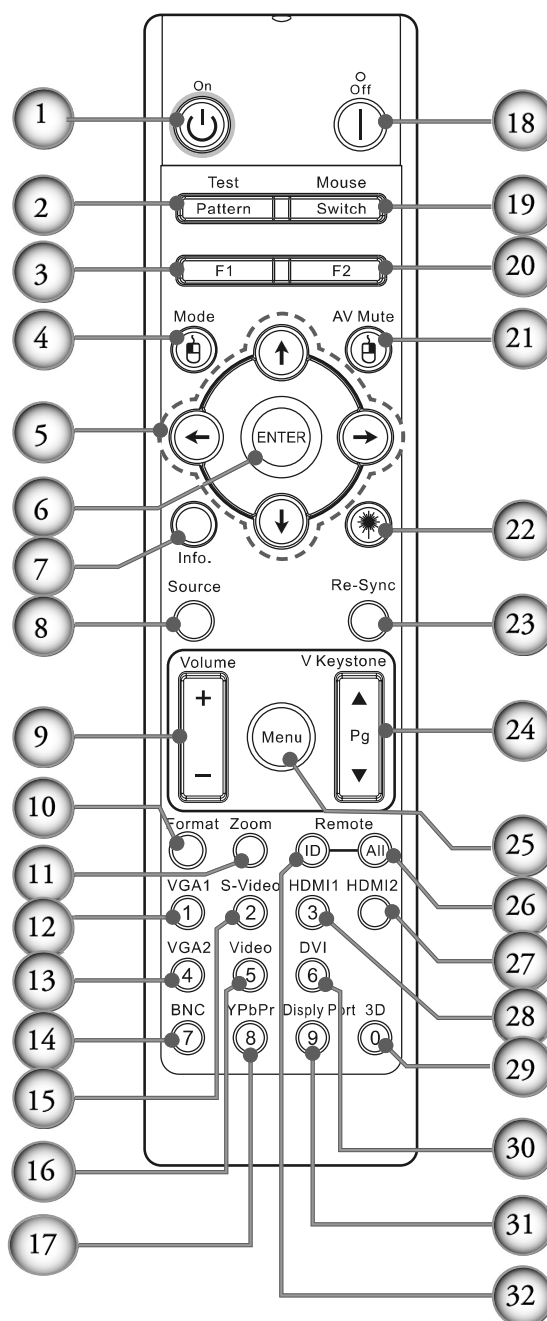
コントロールパネル

1. Source (ソース) / ◄
2. キーストン + / ▲
3. Re-Sync (再同期) / ►
4. MENU (メニュー)
5. Enter
6. キーストン - / ▼

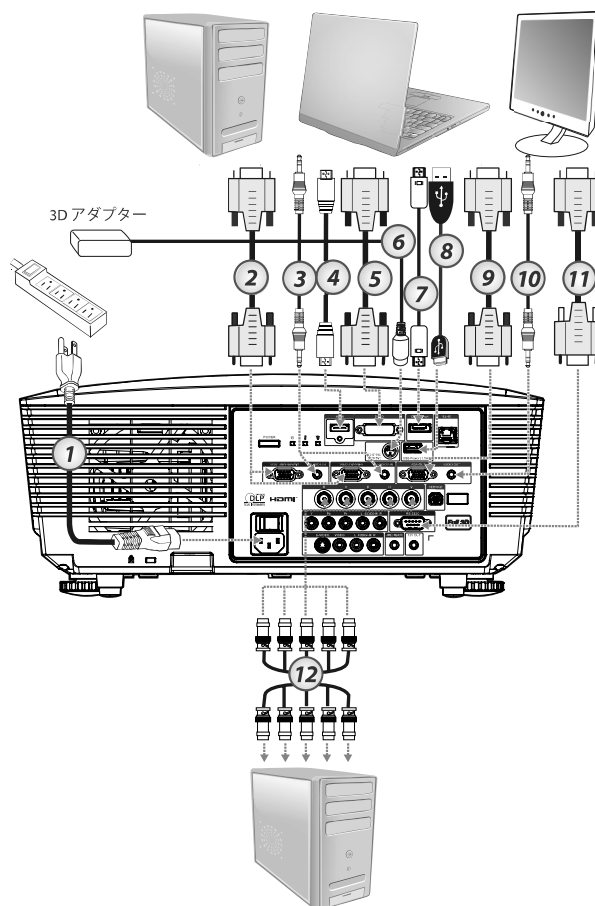
背面図

❖ オーディオ2-入力: DVIとBNCオーディオ入力を共有します。

1. 温度インジケータ LED
2. ランプインジケータ LED
3. HDMI コネクタ
4. VGA 2/ YPbPr コネクタ
5. DVI-D コネクタ
6. 3D同期出力
7. DisplayPort
8. RJ-45 コネクタ
9. USB 電源
10. VGA OUT
11. AUDIO OUT 3.5mm ジャック
12. AUDIO 2 IN (VGA2) コネクタ
13. 裏側赤外線レシーバー
14. USBポート(メーカーメンテナンス用)
15. RS-232 コネクタ
16. 12V OUT コネクタ
17. 有線リモート(3.5mmジャック)
18. AUDIO IN L/R RCA (YPbPr) コネクタ
19. AUDIO IN L/R RCA (Video/S-Video) コネクタ
20. ビデオコネクタ
21. Sビデオコネクタ
22. YPbPr コネクタ
23. BNC コネクタ
24. 電源ソケット
25. 主電源スイッチ
26. AUDIO IN (VGA1) コネクタ
27. VGA 1/ SCART/ YPbPr コネクタ
28. 電源ボタン
29. 電源 LED

リモートコントロール

❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

1. 電源オン
2. テストパターン
3. 機能 1 (割り当て可能)
4. ディスプレイモード / マウスの左キー
5. 4 方向選択キー
6. Enter（エンター）
7. 情報パネル
8. ソース
9. Volume (音量) +/-
10. フォーマット（縦横比）
11. ズーム
12. VGA1/1 (パスワード入力のための数字ボタン)
13. VGA2/4
14. BNC/7
15. Sビデオ/2
16. Video/5
17. YPbPr/8
18. 電源オフ
19. マウススイッチ
20. 機能 2 (割り当て可能)
21. AV 消音 / マウスの右キー
22. レーザー（日本仕様で操作不可）
23. 再同期
24. 垂直キーストン +/-
25. MENU (メニュー)
26. リモートコードすべて
27. HDMI2
28. HDMI1/3
29. 3D/0
30. DVI/6
31. DisplayPort/9
32. リモートコード01~99

プロジェクタの接続

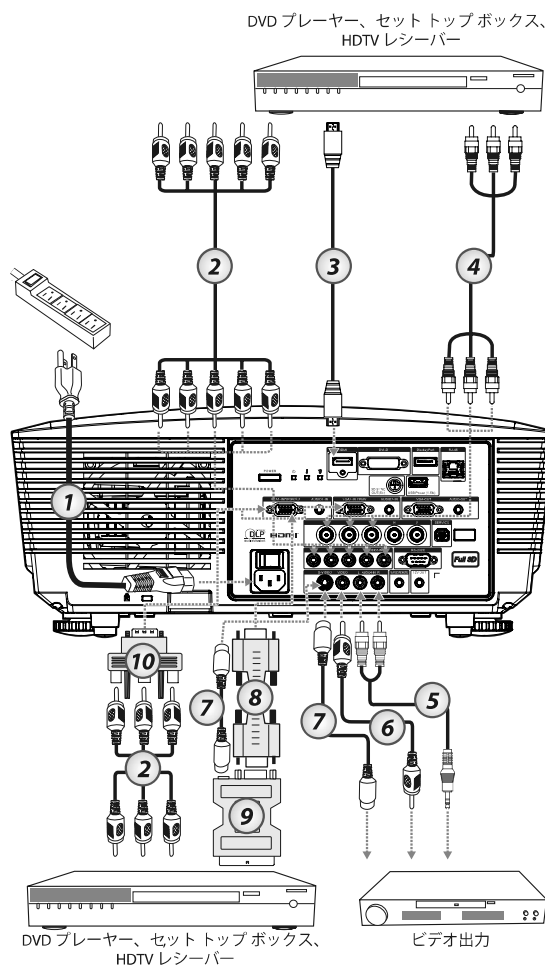
コンピュータ / ノートブックへの接続

- 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。
- オーディオ2-入力: DVIとBNCオーディオ入力を共有します。

1. 電源コード
2. VGA ケーブル
3. Audio-in ケーブル *
4. HDMI ケーブル *
5. DVI-D ケーブル *
6. 3D同期ケーブル*
7. DisplayPortケーブル*
8. USB 充電器 *
9. VGA-out ケーブル (VGA1 VGA 信号ループスルーで使用可能)
10. Audio-out (オプションの RCA-3.5mm ジャックケーブル)
11. RS-232 ケーブル *
12. BNC ケーブル *

*(別売りの付属品)

ビデオソースへの接続

❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

❖ オーディオ2-入力: DVIとBNCオーディオ入力を共有します。

1 電源コード
2 コンポーネントケーブル *
3 HDMI ケーブル *
4 BNC ケーブル *
5 Audio-in ケーブル *
6 ビデオケーブル *
7 Sビデオケーブル *
8 VGA ケーブル
9 SCART - RGBおよび Sビデオアダプタ *
10 RGB - コンポーネントアダプタ *

オプションレンズの取り付けと取り外し

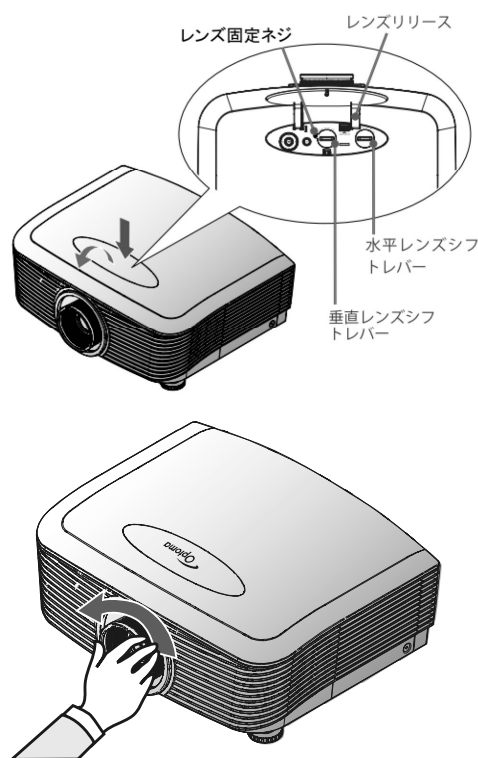
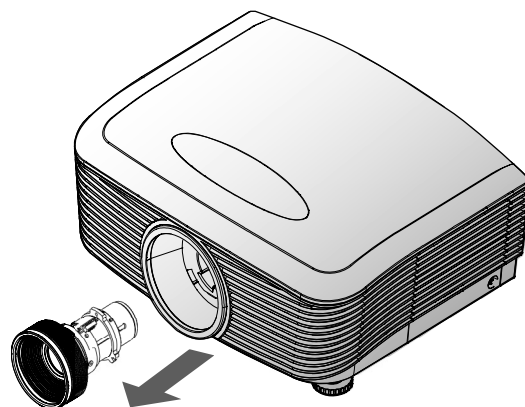
注意

- プロジェクターやレンズコンポーネントを振ったり過剰な圧力を加えたりしないでください。プロジェクターやレンズコンポーネントには精密部品が含まれています。
- レンズの取り付けや取り外すときは、まずプロジェクターの電源がオフになっていることを確認し、冷却ファンが停止してから、メインの電源スイッチをオフにしてください。
- レンズの取り外しや取付を行っているときは、レンズに触れないでください。
- 指紋、埃または脂がレンズ面に付かないようにしてください。レンズ面に傷を付けないでください。
- レンズに傷が付かないように、平らな面で柔らかい布を下に敷いて作業してください。
- レンズを取り外して保管する場合、ほこりや汚れが付かないようにプロジェクターにレンズキャップを付けてください。

プロジェクターから古いレンズを取り外す

❖ 初めてレンズをはめ込む前に、本体のキャップを外してください。

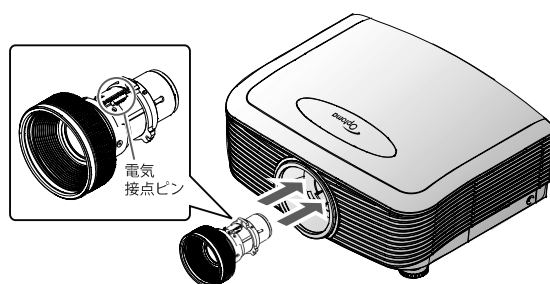
1. 上面カバーを押し下げてロックを外し、開きます。
2. [レンズリリース] ボタンを押して、**ロック**を解除します。
3. レンズをつかみます。

4. レンズを反時計方向に回します。
   古いレンズが外れます。

5. 古いレンズをゆっくり引っ張ります。

新しいレンズを取り付ける

レンズから両方のキャップを取り外します。

メモ

❖ 電気接点ピンは、図に示した方向に向ける必要があります。

1. **図にあるように、プロジェクタのノッチと、レンズの電気接点ピンを揃えて取り付けてください。**

2. レンズを右に回して、カチッと音がして定位置に納まるようにします。

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源をオンにするには

1. レンズカバーを開けます。
2. 電源コードをプロジェクタに接続します。
3. 接続されたデバイスの電源を入れます。
4. 電源LEDが赤くなったのを確認してから、電源ボタンを押してプロジェクタをオンにします。
   電源 LED が青く点滅します。

❖ まず、プロジェクターの電源を入れた後、信号ソースを選択します。

起動画面は約 30 秒後に表示されます。プロジェクターを初めて使用する場合、起動画面が表示された後に、使用言語と電源モード設定を選択できます。

接続されたデバイスがPCの場合、ディスプレーが接続された出力を通してプロジェクタに出力されるように設定されていることを確認します。（お使いの PC のユーザマニュアルでディスプレイ出力を切り換えるための適切な Fn キーを確認してください。）

セキュリティロックが有効にされている場合、48 ページのセキュリティ設定を参照してください。

5. 1 つ以上の入力デバイスが接続されている場合、"ソース" ボタンを繰り返し押すとそれらデバイス間での切り換えができます。
   直接ソースを選択する操作については、31 ページを参照してください。

アナログ RGB
1024 x 768 @ 60 Hz

プロジェクタの電源をオフにするには

1. **電源**を押してプロジェクタランプをオフにすると、プロジェクタの画面にメッセージが表示されます。

   電源オフ?
   電源キーを再び押す。

2. **電源**を再度押して確定します。何もしないとこのメッセージは 15 秒後に消えます。

3. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約180秒間動作を続け、その間、電源 LED は赤く点灯します。ライトが赤く点灯したら、プロジェクタはスタンバイモードに入ります。

   （プロジェクタの電源を再度入れたい場合は、プロジェクタの冷却サイクルが完了し、スタンバイモードになるのを待ってからオンにします。スタンバイモードになった後、**電源**を押してプロジェクタを再起動します。）

4. 主電源スイッチをオフにしてください。電源コードをコンセントとプロジェクタから抜きます。

5. 電源オフ手順の後すぐにプロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- ランプ LED のインジケータが赤になると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。お近くの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。81 ページを参照してください。
- 温度 LED が赤に点灯すると（点滅ではない）、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通常の状態下では、プロジェクタの冷却後再度オンにすることができます。問題が持続する場合、お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。81 ページを参照してください。
- 温度インジケータ LED が赤く点滅したら、ファンが故障していることを示しています。お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。81 ページを参照してください。

投影画像の調整

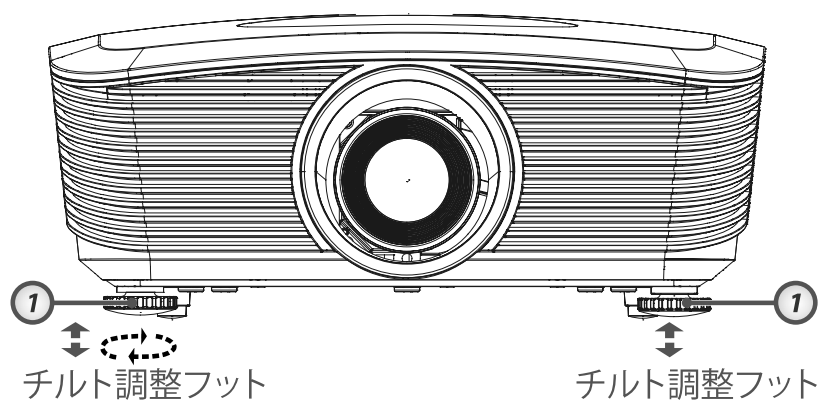
プロジェクタの高さを調整するには

プロジェクタは画像の高さを調整するための昇降脚部を装備しています。

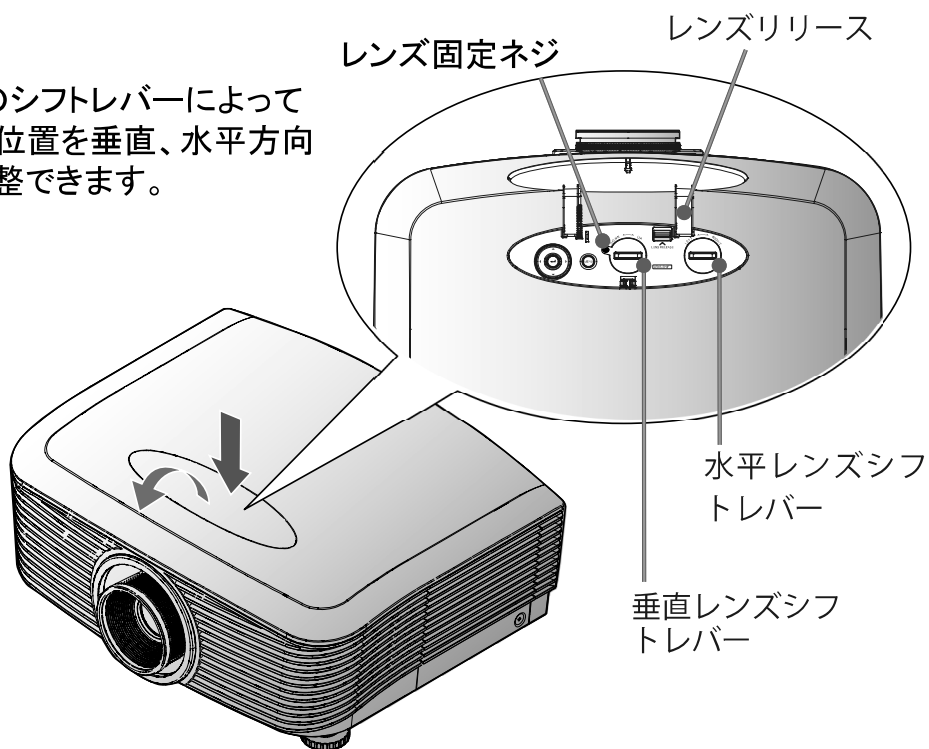
画像を上げるには：

ねじ込み式フット ❶ を使って画像を希望する高さと角度まで持ち上げ、表示角を微調整します。

画像を下げるには：

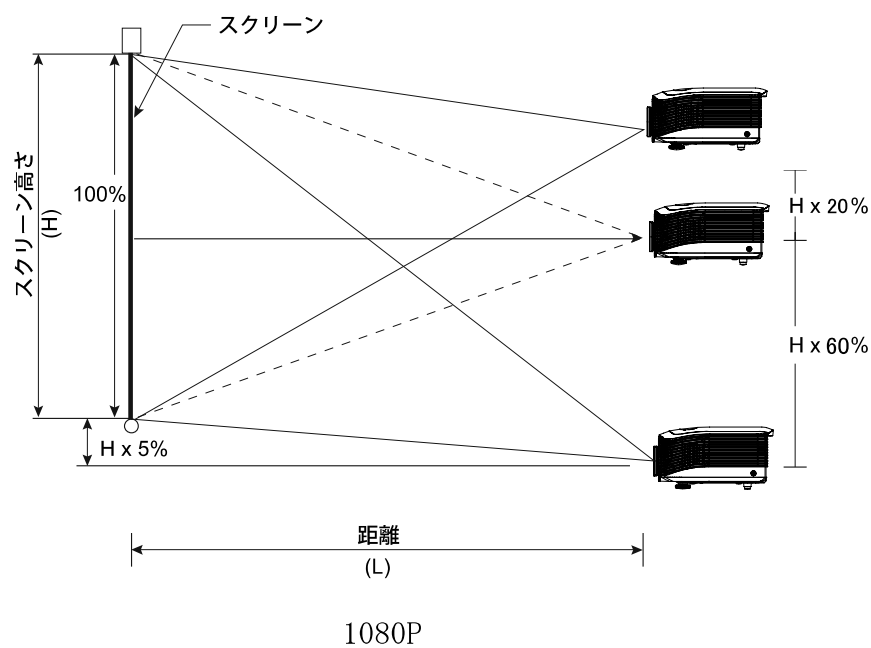
ねじ込み式フット ❶ を使って画像を希望する高さと角度まで下げ、表示角を微調整します。

レンズシフトを使って投射された画像位置を調整する

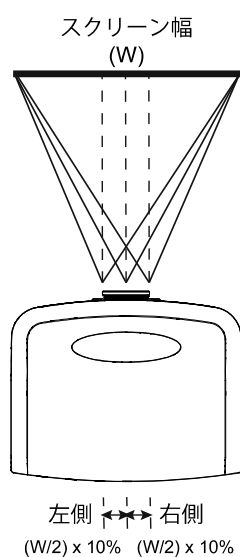
❖ レンズシフト調整の前にねじを緩め、調整が終了したら締め付けるようにしてください。

2種のシフトレバーによって画像位置を垂直、水平方向に調整できます。

レンズシフト機能は、投写画像の水平・垂直位置を以下の範囲で調整するために使われます。

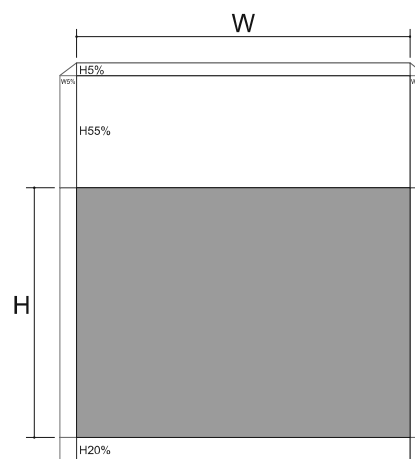
垂直画面位置を調整する

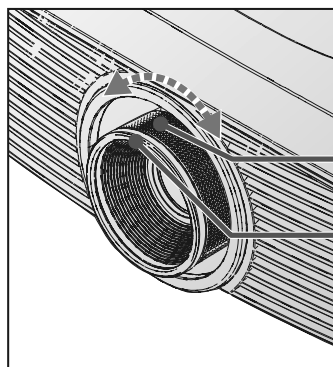
垂直画像高は1080Pの場合は60%～-20%の間のオフセット位置で調整できます。詳細については、以下のレンズシフト範囲図を参照してください。

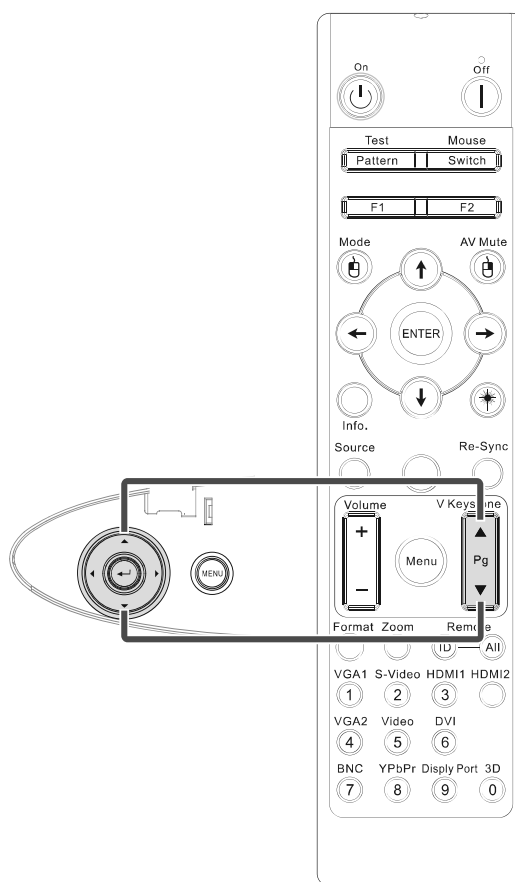
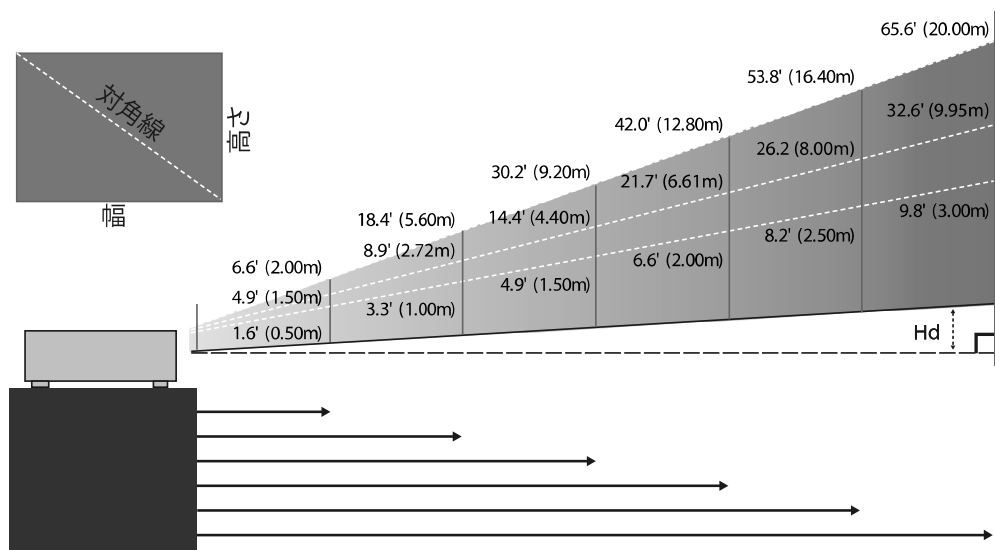
1080P

水平画面位置を調整する

レンズを中心の位置にすると、水平画像位置は画像幅の
最大 5% まで左右に調整することができます。
詳細については、以下のレンズシフト範囲図を参照してください。

レンズシフト範囲図

WとHが0%のオフセット位置の場合
最大H上シフト=Hx60%
最大H下シフト=Hx20%
最大Wシフト=Wx5%

最大WシフトがWx5%の場合
最大Hシフト=Hx55%
最大HシフトがHx60%の場合
最大Wシフト=Hx0%

ズーム / フォーカスの調整

ズームリングを使い、ズームインまたはズームアウトすることができます。画像の焦点を合わせるには、画像がはっきりするまでフォーカスリングを回転させせます。プロジェクターは距離でフォーカスを調整します。28 ～ 29ページを参照してください。

キーストンボタンを使い、画像の歪みを補正します。ボタンはリモートコントロールとプロジェクタのコントロールパネルにあります。

V Keystone 0

投写画像サイズの調整（1080P）

標準レンズ(BX−DL200) オフセット60%

画面（対角）	最大	44.0″ (111.8cm)	79.8″ (202.6cm)	129.1″ (327.8cm)	193.9″ (492.5cm)	234.7″ (596.0cm)	291.9″ (741.3cm)
	最小	35.1″ (89.2cm)	63.7″ (161.7cm)	103.0″ (261.6cm)	154.7″ (393.0cm)	187.2″ (475.6cm)	232.9″ (591.5cm)
画面サイズ（幅x高）	最大	38.3″x21.6″ 97.4x54.8cm	69.5″x39.1″ 176.6x99.4cm	112.5″x63.3″ 285.7x160.7cm	169.0″x95.1″ 429.2x241.4cm	204.5″x115.0″ 519.5x292.2cm	254.4″x143.1″ 646.1x363.4cm
	最小	30.6″x17.2″ 77.7x43.7cm	55.5″x31.2″ 140.9x79.3cm	89.8″x50.5″ 228.0x128.2cm	134.8″x75.8″ 342.5x192.6cm	163.2″x91.8″ 414.5x233.2cm	203.0″x114.2″ 515.5x290.0cm
Hd	最大	2.2″ (5.5cm)	3.9″ (9.9cm)	6.3″ (16.1cm)	9.5″ (24.1cm)	11.5″ (29.2cm)	14.3″ (36.3cm)
	最小	1.7″ (4.4cm)	3.1″ (7.9cm)	5.0″ (12.8cm)	7.6″ (19.3cm)	9.2″ (23.3cm)	11.4″ (29.0cm)
Distance		4.9′ (1.50m)	8.9′ (2.72m)	14.4′ (4.40m)	21.7′ (6.61m)	26.2′ (8.00m)	32.6′ (9.95m)

長焦点レンズ（BX−DL300） オフセット60%

画面（対角）	最大	46.8″ (118.9cm)	131.1″ (332.9cm)	215.3″ (546.9cm)	299.6″ (760.9cm)	383.8″ (974.9cm)	468.1″ (1189.0cm)
	最小	31.2″ (79.1cm)	87.2″ (221.6cm)	143.3″ (364.0cm)	199.4″ (506.4cm)	255.5″ (648.8cm)	311.5″ (791.3cm)
画面サイズ（幅x高）	最大	40.8″x22.9″ 103.6x58.3cm	114.2″x64.3″ 290.2x163.2cm	187.7″x105.6″ 476.7x268.1cm	261.1″x146.9″ 663.2x373.1cm	334.5″x188.2″ 849.7x478.0cm	408.0″x229.5″ 1036.3x582.9cm
	最小	27.2″x15.3″ 69.0x38.8cm	76.0″x42.8″ 193.1x108.6cm	124.9″x70.3″ 317.2x178.4cm	173.8″x97.7″ 441.4x248.3cm	222.6″x125.2″ 565.5x318.1cm	271.5″x152.7″ 689.7x387.9cm
Hd	最大	2.3″ (5.8cm)	6.4″ (16.3cm)	10.6″ (26.8cm)	14.7″ (37.3cm)	18.8″ (47.8cm)	22.9″ (58.3cm)
	最小	1.5″ (3.9cm)	4.3″ (10.9cm)	7.0″ (17.8cm)	9.8″ (24.8cm)	12.5″ (31.8cm)	15.3″ (38.8cm)
Distance		6.6′ (2.00m)	18.4′ (5.60m)	30.2′ (9.20m)	42.0′ (12.80m)	53.8′ (16.40m)	65.6′ (20.00m)

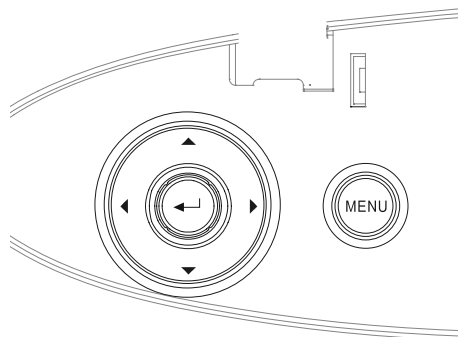
短焦点レンズ（BX−DL080） オフセット60%

画面（対角）	29.3″ (74.5cm)	58.7″ (149.0cm)	88.0″ (223.5cm)	117.3″ (298.0cm)	146.7″ (372.5cm)	176.0″ (447.0cm)
画面サイズ（幅x高）	25.6″x14.4″ 64.9x36.5cm	51.1″x28.8″ 129.9x73.1cm	76.7″x43.1″ 194.8x109.6cm	102.3″x57.5″ 259.7x146.1cm	127.8″x71.9″ 324.7x182.6cm	153.4″x86.3″ 389.6x219.2cm
Hd	1.4″ (3.7cm)	2.9″ (7.3cm)	4.3″ (11.0cm)	5.8″ (14.6cm)	7.2″ (18.3cm)	8.6″ (21.9cm)
距離	1.6′ (0.50m)	3.3′ (1.00m)	4.9′ (1.50m)	6.6′ (2.00m)	8.2′ (2.50m)	9.8′ (3.00m)

投写距離（1080P）

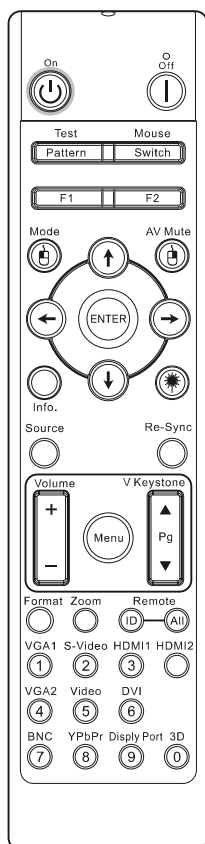
標準レンズ		34	60	80	100	120	140	150	160	170	180	190	200
投写距離	最短(ワイド)	1.2	2.0	2.7	3.4	4.1	4.8	5.1	5.5	5.8	6.1	6.5	6.8
	最長(テレ)	1.5	2.6	3.4	4.3	5.1	6.0	6.4	6.8	7.3	7.7	8.1	8.6

長焦点レンズ		31	60	80	100	120	140	150	160	170	180	190	200	250	300	350	400	450	470
投写距離	最短(ワイド)	1.3	2.6	3.4	4.3	5.1	6.0	6.4	6.8	7.3	7.7	8.1	8.6	10.7	12.8	15.0	17.1	19.2	20.1
	最長(テレ)	2.0	3.8	5.1	6.4	7.7	9.0	9.6	10.2	10.9	11.5	12.2	12.8	16.0	19.2	22.4	25.6	28.8	30.1

短焦点レンズ		28	60	80	100	120	140	150	160	170
投写距離	固定短焦点	0.5	1.0	1.4	1.7	2.1	2.4	2.6	2.7	2.9

コントロールパネル

コントロールパネルの使用	
▲/キーストーン +（上矢印）	•画像の台形歪みを正方向に補正します。 •OSDをナビゲートし、設定を変更します。
◄/ソース（左矢印）	•**ソース**を押して入力信号を選択します。 •OSDをナビゲートし、設定を変更します。
Enter	項目選択を確定します。/
►/再同期（右矢印）	•プロジェクタを入力ソースと自動的に同期します。 •OSDをナビゲートし、設定を変更します。
メニュー	**メニュー**を押すとオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが開きます。OSD　を終了するには再度**メニュー**を押します。

リモートコントロール

リモコンのボタン	
電源オン/オフ	18ページの「プロジェクタの電源をオンにするには」のセクションをご参照ください。 20ページの「プロジェクタの電源をオフにするには」のセクションをご参照ください。
テストパターン	59ページの「テストパターン」のセクションをご参照ください。
マウススイッチ	USBを通してプロジェクタにPCを接続するとき、**マウススイッチ**を押してマウスモードをアクティブ/非アクティブにし、リモコンを使用してPCを制御します。
機能1 (F1)	62ページの「機能1」のセクションをご参照ください。
機能2 (F2)	62ページの「機能2」のセクションをご参照ください。
モード ( )	モード - 36ページの「ディスプレーモード」のセクションをご参照ください。 - マウスモードで、USBマウスのエミュレーションとして を使用し、USBを通して左クリックします。
AV 消音 ( )	音声とビデオがすぐにオフ/オンになります。 マウスモードで、USBマウスのエミュレーションとして を使用し、USBを通して右クリックします。
4 方向選択キー	1. ▲▼◀▶ を使って項目を選択するか、選択の調整を行います。 2. マウスモードで、方向キーのエミュレーションとして▲▼◀▶ を使用します。
Enter (エンター)	1. 項目選択を確認します。 2. マウスモードで、エミュレーションキーボードの入力キーとして。
情報	60ページの「情報」のセクションをご参照ください。
	を押して、画面上のポインタを操作します。**(目に当てないでください)**
ソース	**ソース**を押してソースを検索します。

❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

リモコンのボタン	
再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
MENU (メニュー)	**Menu (メニュー)** を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、**Menu (メニュー)** をもう一度押します。
Volume (音量)+/-	**Volume (音量) +/-**を押して音量を調整します。
垂直キーストン +/-	プロジェクターのチルト調整 (±30度) が原因の画像のゆがみを調整します。
フォーマット	42ページの「フォーマット」のセクションをご参照ください。
ZOOM (ズーム)	**ZOOM (ズーム)** を押して画像をズームアウトします。
リモートID	電源LEDが点滅するまで押してから、01~99を押して特定のリモートコードを設定します。
すべてリモート	押してリモートコードをすべてに設定します。
VGA1	**VGA1** を押して、VGA- IN コネクタからのソースを選択します。
Sビデオ	**Sビデオ** を押して Sビデオソースを選択します。
HDMI	**HDMI** を押して HDMI ソースを選択します。
再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
VGA2	**VGA2** を押して、VGA- IN コネクタからのソースを選択します。
Video (ビデオ)	**Video (ビデオ)** を押してコンポジットビデオソースを選択します。
DVI	**DVI** を押して、DVI-D コネクタからソースを選択します。
BNC	**BNC** を押して BNC ソースを選択します。
YPbPr	**YPbPr** を押して YPbPr ソースを選択します。
DisplayPort	**DisplayPort** を押して BNC ソースを選択します。
3D	**3D**を押して3Dメニューのオン/オフを切り替えます。

- 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

オンスクリーンディスプレイメニュー

プロジェクタの多言語オンスクリーンディスプレイメニューで画像の調整とさまざまな設定変更を行うことができます。プロジェクタは自動的にソースを検出します。

操作方法

1. OSD　メニューを開くには、リモートコントロールまたはプロジェクタのキーパッドの**メニュー**を押します。
2. OSD が表示されたら、◀ ▶ キーを使ってメインメニューの項目を選択します。特定のページで選択を行うとき、▼ または **Enter** を押すとサブメニューに入ります。
3. ▲ ▼ キーを使い、お好みの項目を選択し、◀ ▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューで次に調整する項目を選択し、上述のように調整を行います。
5. **Enter**を押して確定すると、画面がメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、再度**メニュー**を押します。OSD メニューが最後のレベルに戻り、プロジェクタが新しい設定を自動的に保存します。

メニューツリー

- **イメージ**
  - ディスプレーモード — プレゼンテーション/明るい/ムービー/sRGB/ブラックボード/DICOM SIM./3D
  - 輝度
  - コントラスト
  - シャープネス
  - #カラー
  - #色合い
  - 詳細
  - リセット
- **イメージ | 詳細**
  - ノイズ リダクション
  - BrilliantColor™
  - γ — 映画/グラフィック/1.8/2.0/2.2/2.6/3D
  - 色温度 — 暖色/標準/Cool/冷色
  - 色空間 — 自動/RGB/YUV
  - 色空間 *HDMIのみ — 自動/RGB(0-255)/RGB(16-235)/YUV
  - RGBゲイン/バイアス — 赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン/赤バイアス/緑バイアス/青バイアス/リセット/終了
  - Color Matching (信号で保存) — 赤/緑/青/青緑色/マゼンタ色/黄/白/リセット/終了
  - 終了
- **ディスプレー**
  - フォーマット — 4:3/16:9/LBX/ネーティブ/自動
  - デジタル・ズーム — ズーム/水平ズーム/直行ズーム/終了
  - エッジマスク
  - 水平イメージシフト
  - 垂直イメージ シフト
  - 垂直キーストン
  - *3D
- **ディスプレー | 3D**
  - 3D モード — DLP リンク/VESA 3D
  - 3D->2D — 3D/L/R
  - 3D映像フォーマット — 自動/Side By Side/Top and Bottom/Frame Sequential
  - 3D同期反転 — オン/オフ
  - 終了
- **設定**
  - 言語 — English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Português/Polski/ Nederlands/Svenska/ Norsk/Dansk /Suomi/Ελληνικά /繁體中文/简体中文/日本語/ 한국어/ Русский / Magyar/ Čeština/عربي/ไทย/Türkçe/ فارسی /Tiếng Việt/Romanian/Bahasa Indonesia
  - 投射方式 — P / ꟼ / d / b
  - メニュー位置
  - セキュリティ
  - 信号(RGB) — 自動/周波数/位相/水平位置/垂直位置/終了
  - 信号(ビデオ) — ホワイトレベル/ブラックレベル/IRE/終了
  - プロジェクター ID
  - 音声設定
  - 詳細
  - ネットワーク
- **設定 | セキュリティ**
  - セキュリティ設定 — オン/オフ
  - セキュリティタイマー — 月/日/時/終了
  - パスワード変更
  - 終了
- **設定 | 音声設定**
  - 内蔵スピーカー — オン/オフ
  - 消音 — オン/オフ
  - 音量 — 0~10
  - オーディオ入力 — デフォルト /Audio 1/Audio 2/Audio 3/Audio 4
  - 終了
- **設定 | 詳細**
  - ロゴ — Optoma/ニュートラル/ユーザー
  - ロゴキャプチャ
  - クローズドキャプション※1 — オフ/CC1/CC2
  - 終了
- **設定 | ネットワーク**
  - LAN設定 — ネットワーク状態/DHCP/IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS/適用※2/Macアドレス/終了
  - コントロール設定 — Crestron/Extron/PJ Link/AMX Device Discovery/Telnet/終了

※1：米国TV方式の字幕の切り替え機能です。

※2：LANのアドレス設定をON/OFFするかを選択します。

- (#) 「色」と「色合い」はYUVビデオソースの場合にのみサポートされます。
- (*) 互換信号が供給されているとき、「3D」のみ使用できます。

オプション
入力ソース
HDMI/DVI-D/BNC/VGA 1/VGA 2/Component/Sビデオ/ビデオ/Display Port/終了
ソースロック
オン/オフ
高度
オン/オフ
信号捜索情報隠し
オン/オフ
キーパッド ロック
オン/オフ
ロックディスプレーモード
オン/オフ
テストパターン
なし/グリッド(白)/グリッド(緑)/グリッド(マゼンタ色)/白
背景色
青/黒/赤/緑/白
リモート設定
12Vトリガ
オン/オフ
詳細
ランプ設定
情報
リセット
現在/全部
オプション | リモート設定
機能 1
輝度/コントラスト/カラー /色温度/γ
機能 2
ソースロック/投射方式/ランプ設定/消音/デジタル - ズーム
IR機能
オン/オフ
リモートコード
全部 / 1 ~ 99
終了
オプション | 詳細
電源探知オート パワー オン
オン/オフ
信号電源オン
オン/オフ
自動電源オフ(分)
スリープ　タイマー(分)
電源モード(スタンバイ)※3
アクティブ/エコ
終了
※3：待機時の電力を変更できます。
オプション | ランプ設定
ランプ使用時間
ランプリセット
はい/いいえ
ランプ警告
オン/オフ
輝度モード
エコ※4/明るい※4/消費電力
消費電力
280W/290W/300W/310W/320W/330W/340W/350W/360W/370W
終了
※4：カタログ/仕様表では、"エコ"は、ノーマルモードで
"明るい"は、ブライトモードと表記しています。

イメージ

ディスプレーモード

さまざまな画像のタイプについて最適化されたたくさんの工場出荷初期設定があります。

- 表示：コンピュータ入力に適した色と明るさです。
- 明るい：コンピュータ入力の最大輝度です。
- 映画：ホームシアター向けです。
- sRGB：標準化された正確な色です。
- ブラックボード：このモードはブラックボード(緑)に投射しているとき、最適の色設定を達成するために選択する必要があります。
- DICOM SIM：このディスプレーモードは、DICOM「医用デジタル画像と通信」(DICOM)で使用される機器のグレースケール/γパフォーマンスをシミュレーションします。

重要：このモードは医療診断には絶対に使用せず、教育/訓練目的でのみ使用してください。

- 3D：3D表示のユーザー調整可能設定。

輝度

画像の明るさを調整します。

- ◀ を押して、画像を暗くします。
- ▶ を押して、画像を明るくします。

コントラスト

コントラストは、画像の最も明るい場所と最も暗い場所の間の差の程度をコントロールします。

- ◀ を押して、コントラストを上げます。
- ▶ を押して、コントラストを下げます。

イメージ

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押してシャープネスを下げます。
- ▶を押してシャープネスを上げます。

カラー

ビデオ画像を白黒から完全な彩度の色までの間で調整します。

- ◀を押して、画像の色の量を低下します。
- ▶を押して、画像の色の量を増加します。

色合い

赤と緑の色バランスを調整します。

- ◀を押して、画像の緑の量を増します。
- ▶を押して、画像の赤の量を増します。

詳細

詳細メニューに入ります。ノイズリダクション、BrilliantColor™、γ、色温度、色空間、RGBゲイン/バイアス、Color Matching、終了などの詳細ディスプレーオプションを選択します。詳細については、38ページを参照してください。

イメージ | 詳細

ノイズリダクション

モーション適応ノイズリダクションは、インターレース信号で可視ノイズの量を低下します。範囲は「0」～「10」の間です。(0=オフ)

BrilliantColor™

この調整可能アイテムは、新しい色処理アルゴリズムとシステムレベル機能を利用し、画像にリアルでより鮮やかな色を提供すると同時に、明るさをより高めることができます。範囲は **0** から **10** です。強い画像をお好みの場合、最大設定に向けて調整します。よりスムースで自然な画像にするには最小設定に向けて調整します。

γ

映画、グラフィック、1.8、2.0、2.2、2.6、3Dからγタイプを選択します。

色温度

色温度を調整します。冷色は画面をより冷たく見せ、暖色は画面をより温かく見せます。

色空間

AUTO、RGB、YUV から適切なカラーマトリクスタイプを選択します。

- HDMIのみ: 自動、RGB (0-255)、RGB (16-235)、YUVからカラーマトリックスを選択します。

RGBゲイン/バイアス

この設定は、グレー/ホワイトの赤、緑、青のバランスを調整するために使用されます。RGBゲイン/バイアスメニューに入ります。ピクチャ全体に対して輝度調整を行う場合は赤/緑/青ゲインを、コントラスト調整を行う場合はバイアスを選択します。詳細については、39ページを参照してください。

Color Matching

Color Matchingメニューに入ります。詳細については、40ページを参照してください。

イメージ | 詳細 | RGBゲイン/バイアス

この設定は、グレー/ホワイトの赤、緑、青のバランスを調整するために使用されます。

ゲイン

色合いが明るい場合、RGBゲインを設定して次の輝度を調整します:

- 赤—赤のゲイン値を調和させせます。
- 緑—緑のゲイン値を調和させせます。
- 青—青のゲイン値を調和させせます。

バイアス

色合いが暗い場合、RGBゲインを設定して次の輝度を調整します:

- 赤—赤のバイアス値を調和させせます。
- 緑—緑のバイアス値を調和させせます。
- 青—青のバイアス値を調和させせます。

イメージ | 詳細 | Color Matching

色（白を除く）

▲▼を押して色を選択し、Enterを押して色相、彩度、ゲイン設定を調整します。

❖ 緑、青、青緑色、黄、マゼンタ色はそれぞれの色HSGにより個別に調整できます。

▲▼を押して色相、彩度、ゲインを選択し、◄►を押して設定を調整します。

イメージ | 詳細 | Color Matching

白

▲▼を押してWhite（白）を選択し、Enterを押します。

❖ 白はそれぞれ赤、緑、青色を調整できます。

▲▼を押してRed（赤）、Green（緑）、Blue（青）を選択し、◄►を押して設定を調整します。

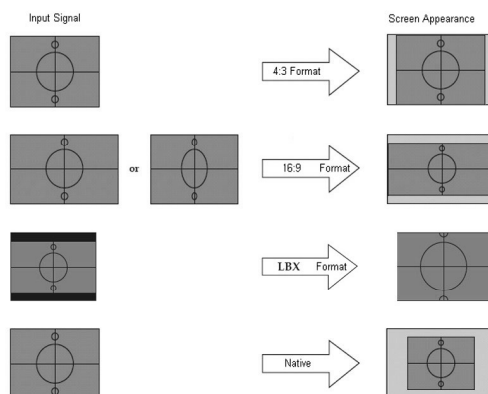
リセット

すべてのColor Setting（色設定）値を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

ディスプレー

フォーマット

この機能を用い、お好みのアスペクト比を選択します。

- 4:3:このフォーマットは 4:3 入力ソース用で、ワイド画面 TV 向けではありません。
- 16:9:このフォーマットはHDTV や DVD など16:9 入力ソース用で、ワイド画面向けです。
- LBX:このフォーマットは非16:9、レターボックスソース、そして外部16:9レンズを使用してフル解像度を用いる2.35:1縦横比を表示するユーザー用です。
- ネガフィルム：入力ソースの解像度によります。スケーリングは実行されません。
- 自動：適切なフォーマットを自動的に選択します。

1080P

ディスプレー

デジタルズーム

- ◀ を押して画像のサイズを小さくします。
- ▶ を押して投写スクリーン上の画像を大きくします。

エッジマスク

エッジマスク機能は、ビデオ映像のノイズを除去します。エッジマスクは、ビデオソースのエッジで映像のビデオ符号化ノイズを除去します。

水平イメージシフト

投影画像の位置を水平方向に移動します。

- ◀ を押して投写スクリーン上で画像を左に動かします。
- ▶ を押して投写スクリーン上で画像を右に動かします。

垂直イメージシフト

投影画像の位置を垂直方向に移動します。

- ▶ を押して投写スクリーン上で画像を上に動かします。
- ◀ を押して投写スクリ―ン上で画像を下に動かします。

垂直キーストン

プロジェクタがスクリーンに対し傾斜して配置されているとき、◀ または ▶ を使って垂直方向の画像の歪みを補正します。

3D

3Dメニューに入ります。3Dモード、3D->2D、3D映像フォーマット、3D同期反転などの3Dオプションを選択します。詳細については、44ページを参照してください。

ディスプレー / 3D

3Dモード

- DLP Link: DLP Link 3Dメガネ向けに最適された設定を使用するには、DLP Linkを選択します。
- VESA 3D: IRベースの3D映像向けに最適された設定を使用するには、VESA 3Dを選択します。

3D→2D

3Dメガネを使用しないで3Dコンテンツを楽しむには、◀または▶を押して2D (左)または2D(右)のプロジェクタディスプレー3Dコンテンツを選択します。この設定は、デュアルプロジェクタパッシブ3Dインストールでも使用できます。

3D映像フォーマット

- 自動: 3D識別信号が検出されると、3Dフォーマットが自動的に選択されます。(HDMI 1.4 3Dソースの場合のみ)
- Side By Side: Side By Sideフォーマットで3D信号を表示します。
- Top and Bottom: Top and Bottomフォーマットで3D信号を表示します。
- Frame Sequential: Frame Sequentialフォーマットで3D信号を表示します。

3D同期反転

◀ または ▶ を押して、3D同期反転機能を有効または無効にして画像を反転します。

設定

言語

言語メニューに入ります。多言語 OSD メニューを選択します。詳しくは 47 ページを参照してください。

投射方式

投射法を選択します：

- P フロントデスクトップ
  工場出荷時の設定です。
- リアデスクトップ
  この機能を選択すると、透過スクリーンの後方から投射できるようプロジェクタが画像を反転させます。
- フロント天井
  この機能を選択すると、天井取付投射向けにプロジェクタが画像を上下逆さにします。
- リア天井
  この機能を選択すると、プロジェクタが画像を反転させ、且つ上下逆さにします。天井取付投射で透過スクリーンの後方から投射することができます。

メニュー位置

表示画面上でメニューの位置を選択します。

設定

セキュリティ

セキュリティメニューに入ります。プロジェクタのセキュリティ機能にアクセスします。
詳しくは 48 ページを参照してください。

信号(RGB)

信号(RGB)メニューに入ります。プロジェクタの信号特性を設定します。入力信号がVGA 1/VGA 2/BNCをサポートしている場合に、この機能を使用できます。
詳細については、51 ページを参照してください。

信号(ビデオ)

信号(ビデオ)メニューに入ります。プロジェクタの信号特性を設定します。入力ソースがVideo（ビデオ）信号をサポートしている場合に、機能を使用できます。詳細については、52 ページを参照してください。

プロジェクター ID

全部 から 99 の間の二桁のプロジェクター ID を選択します。

音声設定

音声メニューに入ります。音声レベルプロパティを設定します。詳しくは 53 ページを参照してください。

詳細

詳細メニューに入ります。スタートアップ時に表示する画面を選択します。詳しくは 54 ページを参照してください。

ネットワーク

Web、PJ-Link、IPコマンド用の制御にアクセスできます。詳しくは 55 ページを参照してください。

設定 | 言語

言語

多言語 OSD メニューを選択します。**ENTER** (↵) を押してサブメニューに入り、左 (◀) または右 (▶) キーを押してお好みの言語を選択します。

設定 | セキュリティ

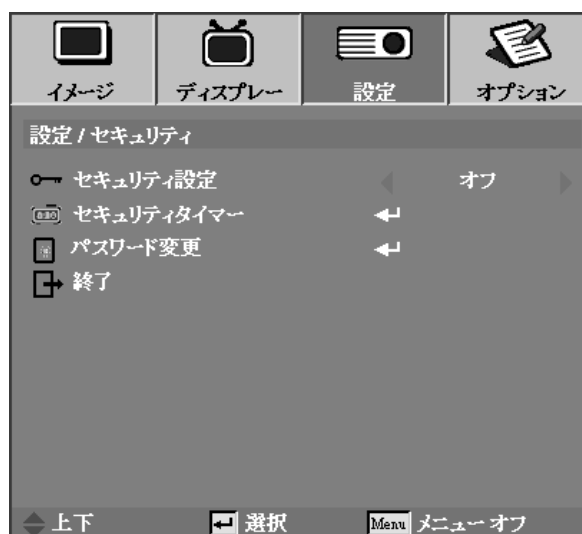
セキュリティ設定

❖ デフォルトのパスワード: 1, 2, 3, 4, 5.

セキュリティパスワードを有効または無効にします。

- オン:プロジェクタの電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際して現在のパスワードが要求されます。
- オフ:一切の機能にパスワードは要求されません。

セキュリティが有効になっていると、起動時とセキュリティメニューへのアクセスが許可される前に次の画面が表示されます：

設定 | セキュリティ

セキュリティタイマー

セキュリティタイマーサブメニューに入ります。

❖ セキュリティタイマーまたは安全設定が有効な場合を除き、設定/セキュリティへのアクセスに際してパスワードは要求されません。

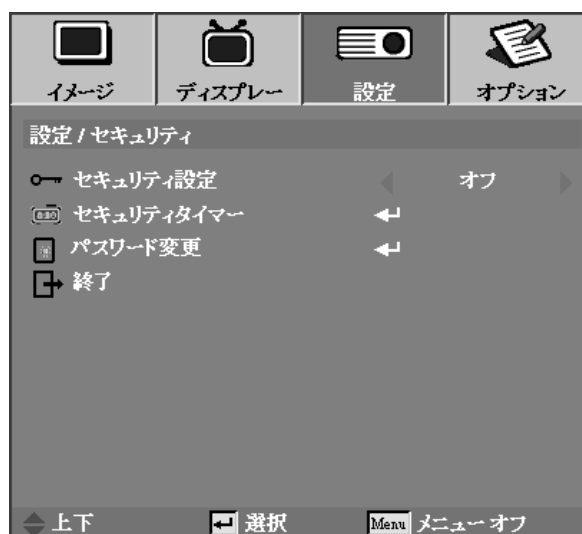
パスワードを入力せずにプロジェクタを使用できる期間を月、日、時間で入力します。設定メニューへ戻るとセキュリティタイマーが有効になります。

有効にされると、プロジェクタは指定された日付及び時間に電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際してパスワードを要求します。

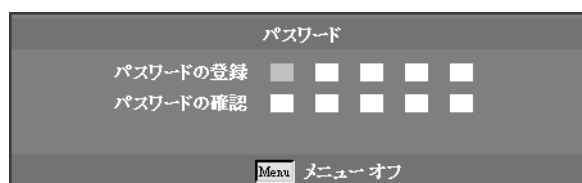
プロジェクタが使用中でセキュリティタイマーが有効になっている場合、パスワードを要求する前に次の画面が 60 秒間表示されます。

設定 / セキュリティ

パスワード変更

このサブメニューを使ってプロジェクタのセキュリティパスワードを変更します。

❖ 誤ったパスワードが3回入力されると、10秒後にプロジェクタが自動的にシャットダウンされます。

1. セキュリティサブメニューからパスワード変更を選択します。パスワード変更確認ダイアログボックスが表示されます。
2. **はい**を選択します。

3. デフォルトのパスワード <1> <2> <3> <4> <5>を入力します。
二つ目のパスワード画面が表示されます。

❖ 新しいパスワードがマッチしない場合、パスワード画面が再度表示されます。

4. 新しいパスワードを確認のため 2 回入力します。

設定 | 信号(RGB)

自動

自動をオンまたはオフに設定して、位相と周波数機能のロック/ロック解除を切り替えます。

- オフ—自動ロックを無効にします。
- オン—自動ロックを有効にします。

周波数

表示データ周波数をお使いのコンピュータのグラフィックカードの周波数に合わせて変更します。縦線がちらつく場合は、この機能を使って調整します。

位相

位相ではディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードと同期します。画像が不安定またはちらつく場合は、この機能を使って補正します。

水平位置

- ◀ を押して画像を左に移動します。
- ▶ を押して画像を右に移動します。

垂直位置

- ◀ を押して画像を下に移動します。
- ▶ を押して画像を上に移動します。

設定 | 信号(ビデオ)

ホワイトレベル

入力ソースがビデオまたはSビデオ信号の場合、ホワイトレベルを調整できます。◄►を押して、ホワイトレベルを調整します。

ブラックレベル

入力ソースがビデオまたはSビデオ信号の場合、ブラックレベルを調整できます。◄►を押して、ブラックレベルを調整します。

IRE

◄►を押して、ビデオ信号の測定結果を調整します。

設定 | 音声設定

内蔵スピーカー

- オフ—内蔵スピーカーをオフにします。
- オン—内蔵スピーカーをオンにします。

消音

音声オンとオフを切り替えます。

- オフ—スピーカーの音量とオーディオ出力はオンになっています。
- オン—スピーカーの音量とオーディオ出力はオフになっています。

ボリューム

- ◄を押して音量を下げます。
- ►を押して音量を上げます。

オーディオ入力

◄►を押してソース入力を選択します。

設定 | 詳細

ロゴ

起動時に表示する画面を選択します。

- オプトマ – 工場出荷時に設定された起動画面です。
- ニュートラル – 背景色です。
- User – ロゴキャプチャ機能を使ってカスタマイズされた画面キャプチャです。

ロゴキャプチャ

起動画面として使用するため表示された画面をキャプチャします。

1. プロジェクタにお好みの画面を表示します。
2. 詳細からロゴキャプチャを選択します。
   確認画面が表示されます。

3. **OK** を選択します。進行中の画面キャプチャが表示されます。終了すると、画面キャプチャ完了が表示されます。キャプチャされた画面が User としてロゴメニューに保存されます。

❖ スタートアップ画面は一度に一つだけ保存できます。それ以降のキャプチャは前のファイルを上書きします（付録のタイミング表を参照）

クローズドキャプション

クローズドキャプションを表示するスクリーンを選択します。

- オフ – デフォルト設定です。
- CC1 / CC2 – クローズドキャプションテキストが利用可能な場合表示されます。

設定 / ネットワーク

LAN設定

LAN設定メニューに入ります。詳細については、56 ページを参照してください。

コントロール設定

コントロール設定メニューに入ります。詳細については、57 ページを参照してください。

設定 | ネットワーク | LAN設定

❖ ネットワークケーブルが接続される場合のみ、ネットワークサブメニューにアクセスできます。

接続が確立されると、OSD ディスプレイに次のダイアログボックスが表示されます。

- ネットワーク状態 – ネットワーク情報を表示します。
- DHCP:

  オン: DHCP サーバから自動的にプロジェクタに IP アドレスが割り当てられます。

  オフ: IP アドレスを手動で割り当てます。
- IPアドレス – IP アドレスを選択します。
- サブネットマスク – サブネットマスク番号を選択します。
- ゲートウェイ – プロジェクタに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイを選択します。
- DNS – DNS 番号を選択します。
- 適用 – **Enter** を押して選択を適用します。
- MACアドレス—読み取り専用。

設定 | ネットワーク | コントロール設定

Crestron

◀▶を押してCrestronの有効/無効にチェックを入れます。

Extron

◀▶を押してExtronの有効/無効にチェックを入れます。

PJ Link

◀▶を押してPJ Linkの有効/無効にチェックを入れます。

AMX Device Discovery

◀▶を押してAMX Device Discoveryの有効/無効にチェックを入れます。

Telnet

◀▶を押してTelnetの有効/無効にチェックを入れます。

オプション

入力ソース

入力ソースサブメニューに入ります。起動時にスキャンするソースを選択します。詳細は 61 ページを参照してください。

ソースロック

現在のソースをケーブルが抜かれていたとしても唯一利用可能なソースとしてロックします。

- オン – 現在のソースだけが入力ソースとして認識されます。
- オフ – **オプション | 入力ソース**で選択されたすべてのソースが入力ソースとして認識されます。

高度

環境に合わせてファン速度を調整します。

- オン – 高温、高湿、または高海抜の環境向けにファン速度を速くします。
- オフ – 一般的環境向けの通常のファン速度です。

信号捜索情報隠し

画面上の情報メッセージを隠します。

- オン – 操作中画面に状態メッセージが表示されません。
- オフ – 操作中画面上にノーマルと状態メッセージが表示されます。

オプション

キーパッド ロック

プロジェクタ上面パネル上のボタンをロックします。

- オン – キーパッドロックを確認する警告メッセージが表示されます。

- オフ – プロジェクタのキーパッドは通常通り機能します。

ロックディスプレーモード

◄►を押してディスプレーモード機能をロックするかロック解除するか選択します。Display Mode Lock（ロックディスプレーモード）がオンに設定されているとき、ユーザーの側でDisplay Mode（ディスプレーモード）機能を調整できません。

テストパターン

テストパターンを表示します。グリット（白、緑、マゼンタ色、白、なし）があります。

背景色

ソースが検出されない場合に投影画像に表示される背景色を選択します。

リモート設定

リモート設定に入ります。詳細については、62 ページを参照してください。

12Vトリガ

◄►を押して12Vトリガが出力されているかいないかを選択します。

オプション

詳細

詳細に入ります。詳細は 63 ページを参照してください。

ランプ設定

ランプ設定メニューに入ります。詳細は　65-66　ページを参照してください。

情報

プロジェクタの情報を表示します。

リセット

すべてのオプションを工場出荷時の設定にリセットします。

メモ

❖ 電源モード（スタンバイ）が省電力に設定されると、プロジェクタがスタンバイ状態の時にVGA・音声パススルー、RS232およびRJ45が無効になります。

オプション | 入力ソース

❖ いずれかのソースを選択しないと、プロジェクタは画像を一切表示できません。少なくとも 1 つのソースを常に選択してください。

入力ソース

このオプションを使い、入力ソースを有効または無効にします。▲または▼を押してソースを選択し、◀ または ▶ を押してそれを有効/無効にします。 ↵(Enter)を押して選択を確定します。プロジェクタは選択されていない入力を検索しません。

オプション | リモート設定

機能1

輝度、コントラスト、色、色温度、γ機能のホットキーとして**F1** キーを設定します。

機能2

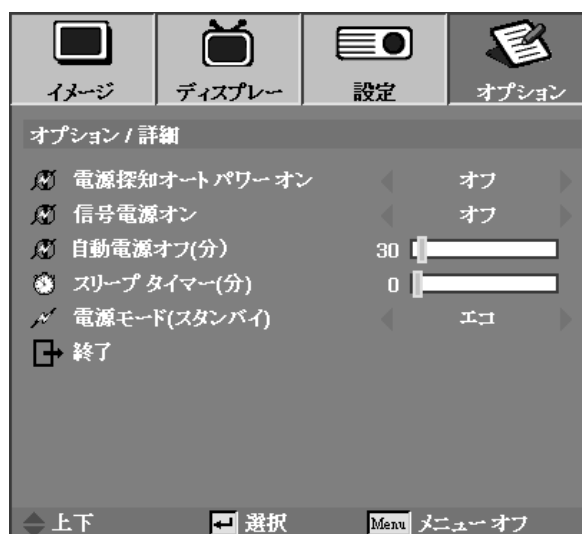
ソースロック、投射方式、ランプ設定、消音、デジタルズーム、音量機能のホットキーとして**F2**キーを設定します。

IR機能

プロジェクタのIR機能の有効または無効を切り替えます。

リモートコード

◄►を押してリモートカスタムコードを設定し↵(Enter)を押して設定を変更します。

オプション | 詳細

電源探知オート パワー オン

直接電源オンを有効または無効にします。

- オン – AC 電源が供給されるとプロジェクタの電源が自動的に投入されます。
- オフ – プロジェクタの電源を通常通りに入れる必要があります。

信号電源オン

信号電源オンを有効/無効にします。

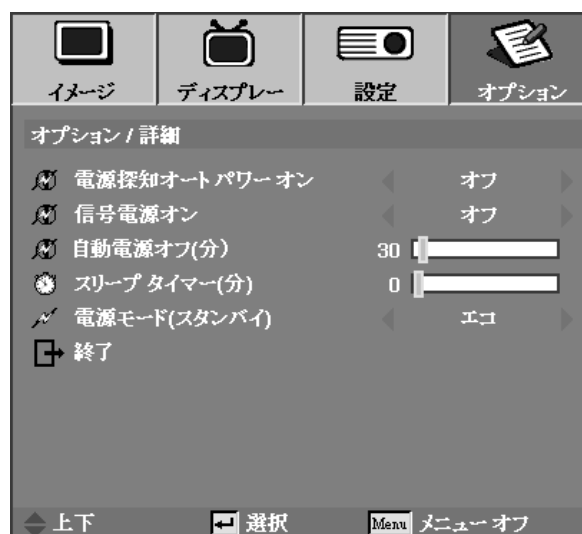
- オン – アクティブな信号の検出時、自動的にプロジェクタの電源が入ります。
- オフ – アクティブな信号が検出されることで電源オントリガを無効にします。

1. スタンバイモードがアクティブなときのみ使用できます。
2. 信号ソースを入力し続けているとき（最後の映像ソースが画面に表示されている状態）にプロジェクタがオフになると、以下を実行しない限り再起動しません。
   a. 最後の映像ソースを終了し、信号ソースを再び入力する。
   b. プラグを抜き、再びプラグを差し込んでプロジェクタの電源を入れる。
3. 信号電源オンは「ソースロック」設定を無効にします。

自動電源オフ(分)

オートパワーオフの間隔を設定します。プロジェクタはデフォルトで信号が 30 分間ないと自動的にランプの電源を切ります。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。

プロジェクタは自動的にオフになります 60 秒

オプション | 詳細

スリープタイマー(分)

スリープタイマー間隔を設定します。指定された時間活動がないと（信号に関係なく）、プロジェクタの電源が切れます。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。

プロジェクタは自動的にオフになります 60 秒

電源モード（スタンバイ）

- エコ：「エコ」を選択すると、電力の**消費**が0.5ワット未満に抑えられます。
- アクティブ：「アクティブ」を選択すると通常のスタンバイに戻り、VGA出力ポートが有効になります。

オプション | ランプ設定

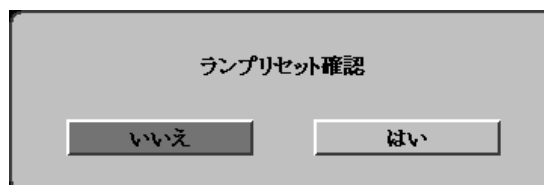
ランプ使用時間

ランプがそれまでに動作した時間数を表示します。この項目は表示機能のみです。

ランプリセット

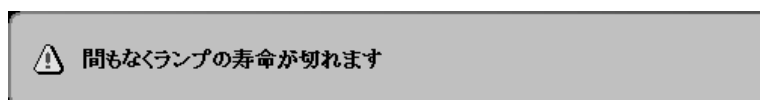
ランプを交換した後、ランプカウンターをリセットして新しいランプの寿命を正しく反映させます。

1. ランプリセットを選択します。

   確認画面が表示されます。

2. **はい**を選択してランプカウンターをゼロにリセットします。

ランプ警告

ランプ寿命警告を有効または無効にします。

- オン – ランプの残り寿命が 30 時間未満になると警告メッセージが表示されます。

- オフ – 警告メッセージが表示されません。

オプション | ランプ設定

輝度モード

ランプのブライトモードを選択します。

- 明るい – デフォルト設定です。
- Eco – ランプの寿命を延ばすため低い輝度設定にします。
- 消費電力–消費電力にて、任意に設定できます。

消費電力

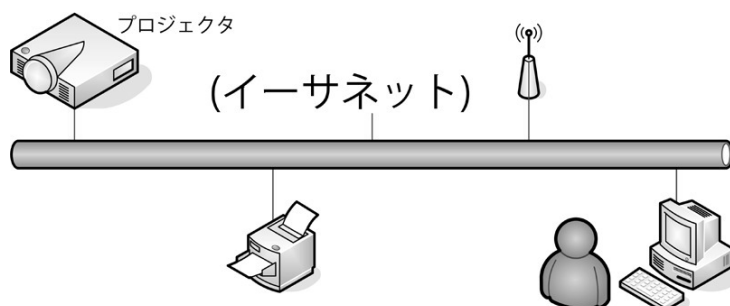
◄►を押して370Wの輝度または280Wの輝度を選択してランプの消耗を低減します。輝度モードが電源の場合のみこの機能を使用できます。

LAN_RJ45

操作の簡便性のため、オプトマプロジェクタはさまざまなネットワーキングとリモート管理機能を提供しています。

ネットワーク経由のプロジェクタの LAN/RJ45 機能、電源オン/オフ、輝度、コントラスト設定などのリモート管理ができます。また、ビデオソース、サウンドミュート等、プロジェクタの状態に関する情報を見ることができます。

❖ プロジェクタは LAN に接続します。標準イーサネットケーブルを使用してください。

❖ ピア・ツー・ピア（PC はプロジェクタに直接接続します）。クロスオーバーイーサネットケーブルを使用してください。

優先LAN端末機能

プロジェクタは、PC（ノートPC）またはLAN/RJ45ポートを介したCrestron / Extron / AMX (Device Discovery) / PJLink互換のその他の外付けデバイスによりコントロールできます。

- Crestronは米国におけるCrestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- Extronは米国におけるExtron Electronics, Inc.の登録商標です。
- AMXは米国におけるAMX LLCの登録商標です。
- PJLinkはJBMIAにより日本、米国、およびその他の国で商標とロゴが申請されています。

サポートされる外付けデバイス

本プロジェクタはCrestron Electronicsコントローラおよび関連するソフトウェア（RoomView®など)の指定されたコマンドによりサポートされています。

http://www.crestron.com/

本プロジェクタは、Extronデバイスの基準のサポートに適合しています。

http://www.extron.com/

本プロジェクタはAMX (Device Discovery)によりサポートされています。

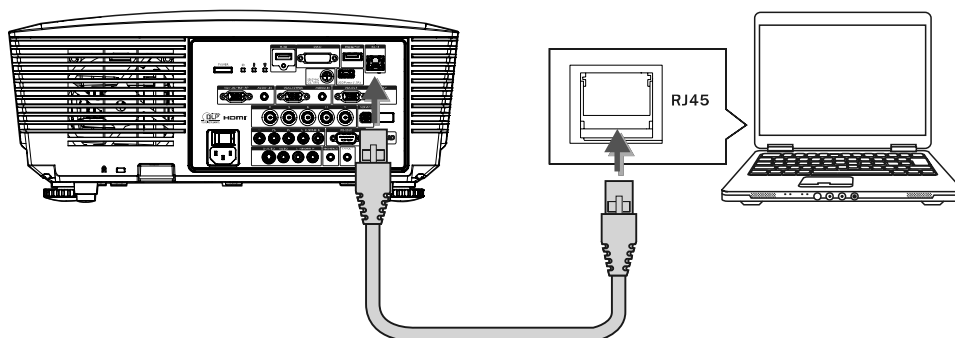
http://www.amx.com/

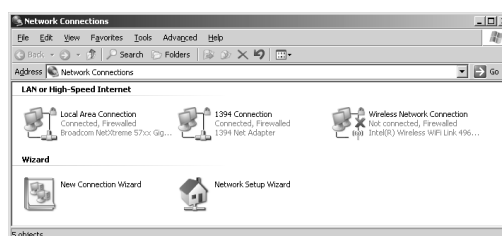
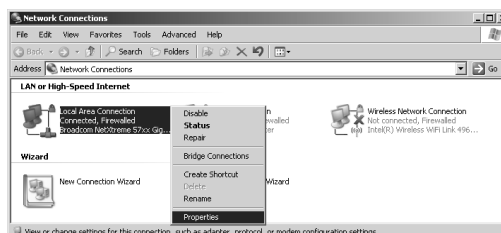
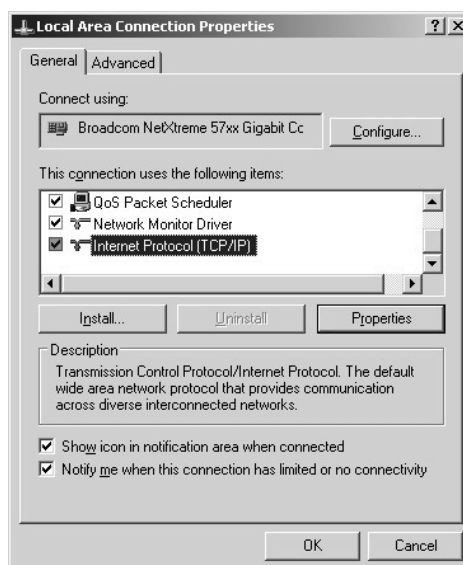
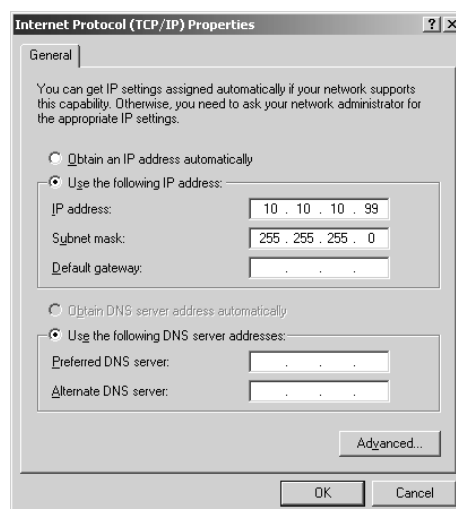
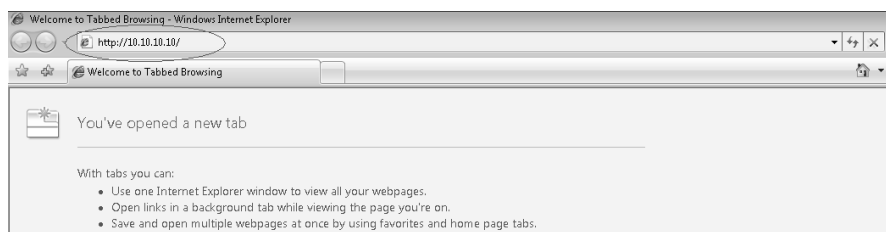
本プロジェクタはPJLink Class1 (バージョン1.00)のすべてのコマンドをサポートします。

http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

LAN/RJ45ポートに接続してリモートでコントロールできるさまざまなタイプの外付けデバイス、および各外付けデバイスをサポートする関連するコントロールコマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

LAN_RJ45

1. RJ45 ケーブルをプロジェクタと PC (ノートブック) の RJ45 ポートに接続します。

2. PC (ノートブック) 上で、次を選択します。
   スタート→コントロールパネル→ネットワーク接続。

3. ローカルエリア接続上で右クリックし、**プロパティを選択します。**

4. プロパティウインドウで全般タブを選択し、インターネットプロトコル（TCP/IP）を選択します。

5. プロパティをクリックします。

6. IP アドレスとサブネットマスクを入力し、OK を押します。

7. プロジェクタの **メニュー**ボタンを押します。
8. OSD-> 設定-> ネットワーク-> LAN設定の順に選択します。
9. 次を入力します:
   - DHCP: オフ
   - IP アドレス: 10.10.10.10
   - サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ゲートウェイ: 0.0.0.0
   - DNS: 0.0.0.0
10. ↵（**エンター**）/ ► を押して設定を確定します。
11. Web ブラウザを開きます (Adobe Flash Player 9.0 以上を搭載した Microsoft Internet Explorer など)。

12. アドレスバーに IP アドレスを入力します: 10.10.10.10。

10. ↵（**エンター**）/ ► を押します。

プロジェクタのリモート管理設定が設定されました。LAN/RJ45 機能は次のように表示されます。

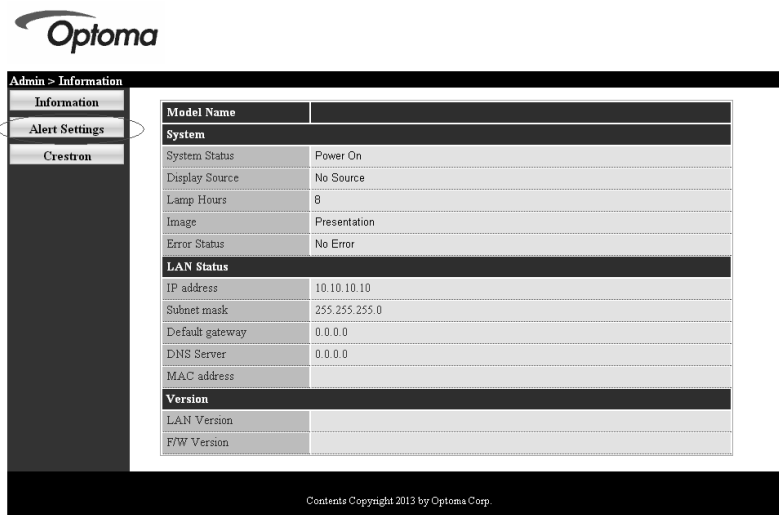
❖ 詳細については、http://www.crestron.com を参照してください。

Crestron Control
IP Address
IP ID
Control Port
Control Set

Projector
Projector Name PJ01
Location RM01
Assigned To Sir
Set
Network Config DHCP Enabled
IP Address 10.10.10.10
Subnet Mask 255.255.255.0
Default Gateway 0.0.0.0
DNS Server 0.0.0.0
Net Set

User Password
Usr Enabled
Password
Confirmed
Usr Set

Admin Password
Adm Enabled
Password
Confirmed
Adm Set

Tools Exit

カテゴリ	項目	入力長
Crestron制御	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクタ	プロジェクタ名	10
	位置	10
	割り当て先	10
ネットワーク設定	DHCP (有効)	(N/A)
	IP アドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトのゲートウェイ	15
	DNS サーバー	15
ユーザーパスワード	有効	(N/A)
	新規パスワード	10
	確定	10
管理者パスワード	有効	(N/A)
	新規パスワード	10
	確定	10

詳細情報については、http://www.crestron.com をご覧ください

電子メールアラートを準備する

1. ユーザーが、Web ブラウザ（Microsoft Internet Explorer v6.01/v8.0 など）を使って LAN RJ45 機能にアクセスできることを確認します。
2. LAN/RJ45 のホームページで、**アラート設定**をクリックします。

3. デフォルトでは、アラート設定にある入力ボックスは空白です。

4. アラートメールを送信する場合、次を入力します:

   - **SMTP** フィールドは送信電子メール（SMTPプロトコル）用のメールサーバーです。これは必須フィールドです。
   - **To（宛先）**フィールドには、受信者の電子メールアドレスを入力します（プロジェクタ管理者など）。これは必須フィールドです。
   - **Cc** フィールドは、指定した電子メールアドレスにアラ

ートのカーボンコピーを送信します。これはオプションのフィールドです（プロジェクタ管理者のアシスタントなど）。

- **From（差出人）**フィールドには、送信者の電子メールアドレスを入力します（プロジェクタ管理者など）。これは必須フィールドです。
- 希望するボックスにチェックを入れて、アラート条件を選択します。

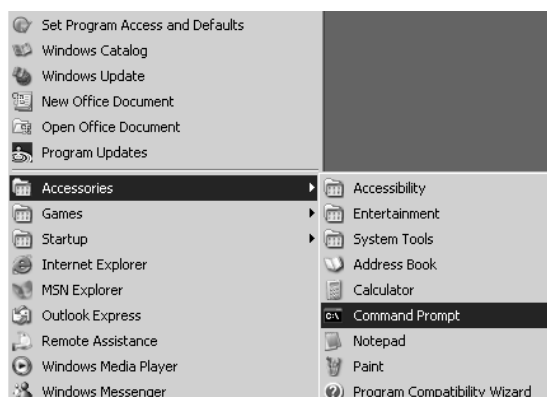
- 指示に従って、すべてのフィールドに入力します。ユーザーは**Send Test Mail（テストメールの送信）**をクリックして、どの設定が正しいかテストできます。電子メールアラートの送信に成功するには、アラート条件を選択し正しい電子メールアドレスを入力する必要があります。

Telnet機能によるRS232

プロジェクタは専用のRS232コマンドコントロールによる「ハイパーターミナル」通信でRS232インターフェースに接続できるだけでなく、LAN/RJ45インターフェースでいわゆる「RS232 by TELNET」にも接続できます。

「RS232 by TELNET」のクイックスタートガイド

プロジェクタのOSDでIPアドレスをチェックし、取得してください。
ノートPC/PCがプロジェクタのWebページにアクセスできることを確認してください。
「TELNET」機能がノートPC/PCにより取り除かれている場合、「Windowsファイアーウォール」設定を無効にしていることを確認してください。

1. スタート => すべてのプログラム => アクセサリ => コマンドプロンプト

2. 以下のように、コマンドフォーマットを入力します。

   telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23（「Enter」キーを押す)

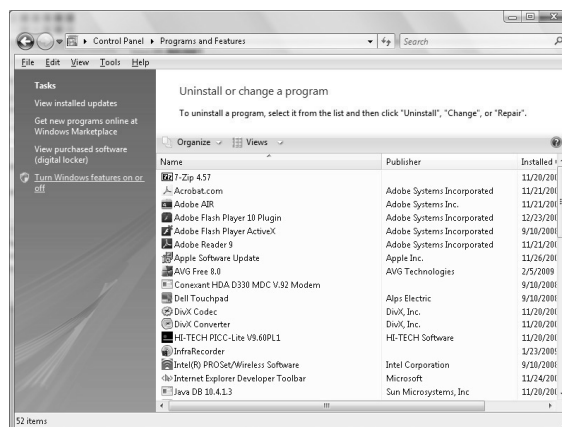
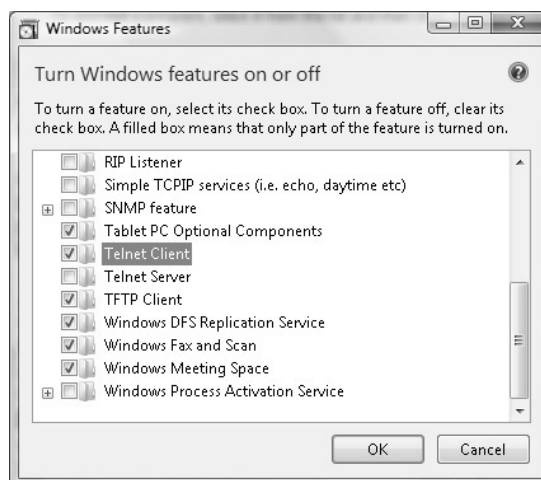
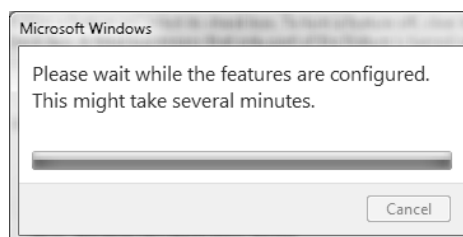
   (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクタのIPアドレス)

3. Telnet接続の準備が完了しユーザーがRS232コマンドを入力できるようになったら、「Enter」キーを押します。RS232コマンドが作動します。

Windows VISTA / 7でTELNETを有効にする方法

Windows VISTAのデフォルトのインストールに、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、エンドユーザーは「Windows機能の有効化または無効化」を有効にすることでこの機能を取得できます。

1. Windows VISTAで「コントロールパネル」を開きます。

2. 「プログラム」を開きます。

3. 「Windows機能の有効化または無効化」を選択して開きます。

4. 「Telnetクライアント」オプションのチェックボックスをオンにし、「OK」ボタンを押します。

「RS232 by TELNET」のスプレッドシート:

1. Telnet: TCP。
2. Telnetポート: 23（詳細については、サービス代理店またはチームにお問い合わせください）。
3. Telnetユーティリティ: Windows 「TELNET.exe」（コンソールモード）。
4. RS232-by-Telnetコントロールの通常切断: TELNET接続の準備ができたら、Windows Telnetユーティリティを直接閉じます。

Telnet-Controlの制限1: Telnet-Controlアプリケーションの連続的なネットワークペイロードに、50バイトもありません。
Telnet-Controlの制限2: Telnet-Controlの完全なRS232コマンドに26バイトもありません。
Telnet-Controlの制限3: 次のRS232コマンドの最小遅延は200 (ms)以下に抑える必要があります。
（*、Windows XPに組み込まれた「TELNET.exe」ユーティリティで、「Enter」キーを押すと「改行」と「復帰改行」コードが有効になります。）

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合、次の情報を参考にしてください。問題が解決しない場合は地域の販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が表示されない

- **インストール**セクションで説明されている通りにすべてのケーブルと電源接続が正しくしっかりと接続されていることを確認します。
- コネクタのピンが曲がっていたり、破損したりしていないか確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているか確認します。**ランプ交換**セクションを参照してください。
- レンズキャップを外し、プロジェクタの電源が投入されていることを確認します。

部分的、スクローリング、正しくない画像が表示される

- リモートコントロールの「**再同期**」を押します。
- PCを使用している場合：

  Windows 95、98、2000、XP向け：

  1. **マイコンピュータ**アイコンから**コントロールパネル**フォルダを開いて、**画面**アイコンをダブルクリックします。
  2. **設定**タブを選択します。
  3. お使いのディスプレイ解像度の設定が UXGA （1600 x 1200）以下であることを確認します。
  4. **詳細設定**ボタンをクリックします。

     プロジェクタが画像全体を表示しない場合、お使いのモニタディスプレイを変更する必要があります。次の手順に従ってください：

  5. ディスプレイ解像度の設定が UXGA（1600 x 1200）以下であることを確認します。
  6. **モニタ**タブの**変更**ボタンを選択します。
  7. **すべてのデバイスを表示する**をクリックします。続いて、SP 枠で**標準モニタ種類**を選択し、「モデル」枠で必要な解像度モードを選択します。
  8. モニタディスプレイの解像度設定が UXGA （1600 x 1200）以下であることを確認します。 (*)

- ノートブックをご使用の場合：
  1. まず上記の手順に従い、コンピュータの解像度を調整します。
  2. 出力設定切り換えを押します。例：[Fn]+[F4]

Acer ⇨	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨	[Fn]+[F7]
Asus ⇨	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル：

システム環境設定 ⇨ ディスプレイ ⇨ 構成 ⇨ ミラーディスプレイ

解像度の変更が困難な場合、またはモニタがフリーズする場合は、プロジェクタを含むすべての装置を再起動してください。

ノートブックまたは PowerBook コンピュータの画面がプレゼンテーションを表示しない

- ノートブックをご使用の場合：

  一部のノートブックは2つ目のディスプレイ装置が使用中のとき、ノートブックの画面を動作しない状態にする場合があります。再動作させる方法はそれぞれ異なります。詳しくはお使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。

画像が不安定、またはちらつく

- **位相**を使って補正します。詳しくは 51 ページを参照してください。
- お使いのコンピュータのモニタ色彩設定を変更します。

画像に縦線がちらつく

- **周波数**を使って調整します。詳しくは 51 ページを参照してください。
- お使いのグラフィックカードのディスプレイモードを確認・設定してプロジェクタに合うようにします。

画像の焦点が合っていない

- レンズキャップが外されていることを確認します。
- プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。
- プロジェクタから必要な距離の間に投写スクリーンがあることを確認します。詳しくは 27-28 ページを参照してください。

16：9 DVD 作品を表示するとき画像が伸びる

スクイーズ方式の DVD または 16:9 DVD を再生する場合、プロジェクタ側を OSD で 16:9 フォーマットにするとプロジェクタは最高の画像を表示します。4:3 フォーマットの DVD 作品を再生する場合は、プロジェクタ OSD でフォーマットを 4:3 に変更してください。画像がまだ伸びる場合は、次を参照してアスペクト比を調整する必要があります：

- DVD プレイヤーのディスプレイフォーマットを 16:9 （ワイド） アスペクト比タイプに設定してください。

画像が小さすぎる、または大きすぎる

- プロジェクタ上部のズームリングを調整します。
- プロジェクタをスクリーンに近づけるか、遠ざけます。
- リモートコントロールまたはプロジェクタパネル上の [**メニュー**] ボタンを押して、**ディスプレイ | フォーマット**を開き、異なる設定を試してみます。

画像のサイドが斜めに歪む

- 可能であればプロジェクタがスクリーンの中央かつスクリーン底部の下になるようプロジェクタを配置しなおします。
- サイドが垂直になるまでリモートコントロール上の [**キーストン +/-**] ボタンを押します。

画像が反転している

- **設定 | 投射方式**を OSD から選択し、投射方向を調整します。

中断の問題

プロジェクタがコントロールに一切反応しない

- 可能であればプロジェクタの電源を切り、電源コードを抜いて少なくとも 60 秒間待ってから再度電源を接続します。

ランプが焼きつく、または弾けるような音がする

- ランプが寿命に達すると、ランプは焼きつき、弾けるような大きな音を発する場合があります。これが起こった場合、プロジェクタはランプモジュールを交換するまでオンにすることができません。ランプの交換は、83 ページのランプ交換手順に従ってください。

HDMI Q & A

"標準" HDMI ケーブルと "高速" HDMI ケーブルの違いは何ですか?

近頃、HDMI のライセンスを持つ LLC は、ケーブルは標準または高速ケーブルとしてテストされると発表しました。

- 標準 (または "カテゴリ 1") HDMI ケーブルは、75 MHz または最大 2.25 Gbps の速度で実行するようにテストされています。これは、720p/1080i 信号に相当します。
- 高速 (または "カテゴリ 2") HDMI ケーブルは、340MHz または最大 10.2Gbps の速度で実行するようにテストされています。これは、現在 HDMI ケーブルを通じて使用可能な最高のバンド幅で、高い色深度や更新レートのものを含め、ソースから 1080p 信号を正常に処理できます。また、高速ケーブルは、WQXGA シネマモニター (解像度 2560 x 1600) などの高解像度ディスプレイにも使用可能です。

10 メートル以上の HDMI ケーブルをどのように管理したらいいですか?

- HDMI ソリューションで機能するさまざまな HDMI アダプタがあり、ケーブルの有効距離を標準の 10 メートルからそれ以上の長さに延長します。これらの企業では、アクティブケーブル (ケーブルの信号を増強および拡張するケーブルに組み込まれたアクティブエレクトロニクス)、中継器、アンプ、CAT5/6 およびファイバソリューションを含むさまざまなソリューションを製造しています。

ケーブルが HDMI 認定ケーブルかどうかはどのようにわかりますか?

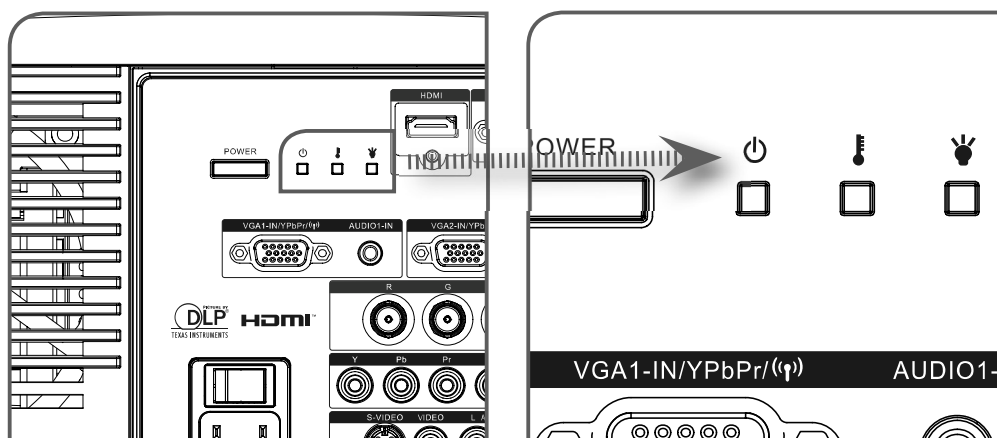
- すべての HDMI 製品は、HDMI コンプライアンステスト仕様の一環として製造元の認定を受ける必要があります。ただし、HDMI ロゴを持つものの、正しくテストされていないケーブルもあります。HDMI のライセンスを持つ LLC は、そのようなケースを積極的に調べ、HDMI の商標が市場で正しく使われるようにしています。消費者は、評判の良い販売店や信頼できる会社からケーブルを購入することをお勧めします。

  詳細の参照先:
  http://www.hdmi.org/learningcenter/faq.aspx#49

プロジェクタ状態表示

メッセージ	電源 LED (青)	電源 LED (赤)	温度 LED (赤)	Over temperature（過熱） (赤)
開く	オン	0	0	0
ウォームアップまたは冷却	点滅（05.秒）	0	0	0
スタンバイ	0	オン	0	0
T1温度過熱	0	点滅	オン	0
温度ブレーク	0	4	0	0
Lamp error（ランプエラー）	0	点滅	0	オン
ファンエラー	0	点滅	点滅	0
Lamp door open（ランプドアが開いています）	0	7	0	0
DMD error（DMD エラー）	0	8	0	0
Color wheel error（カラーホイールエラー）	0	9	0	0

* 電源 LED は、OSD が表示されたときにオンになり、OSD が消えたときにオフになります。

数字は LED の点滅回数を表します。

メッセージ警告

- ランプの交換：

⚠ 間もなくランプの寿命が切れます

- 範囲外：（詳しくは以下を参照してください）

入力信号を受信できません。
画像解像度を低くしてください。

リモートコントロールの問題

リモートコントロールが動作しない場合

- リモートコントロールの操作角度が約 ±15° であることを確認します。
- リモートコントロールとプロジェクタ間に障害物がないことを確認します。プロジェクタの 7m (23ft) 以内で移動します。
- 電池が正しく入れられているか確認します。
- リモートコントロールの電池が弱い場合は交換します。

音声の問題

音がしない

- リモートコントロールのボリュームを調整します。
- 音声ソースのボリュームを調整します。
- オーディオケーブルの接続を確認します。
- ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
- プロジェクタの修理を依頼します。

サウンドがひずむ

- オーディオケーブルの接続を確認します。
- ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
- プロジェクタの修理を依頼します。

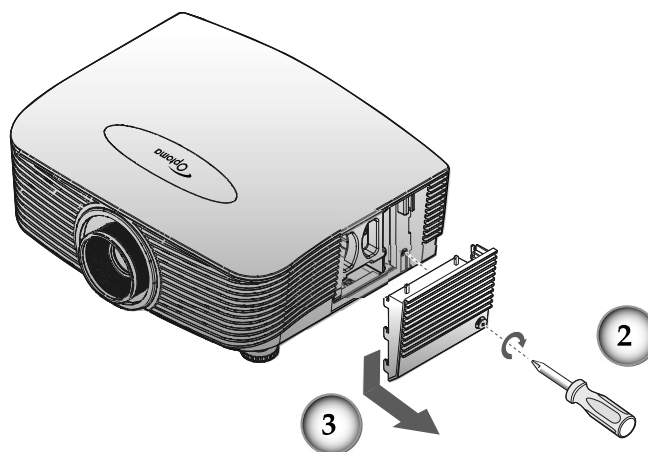
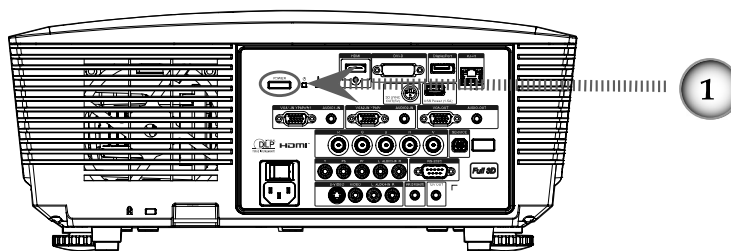
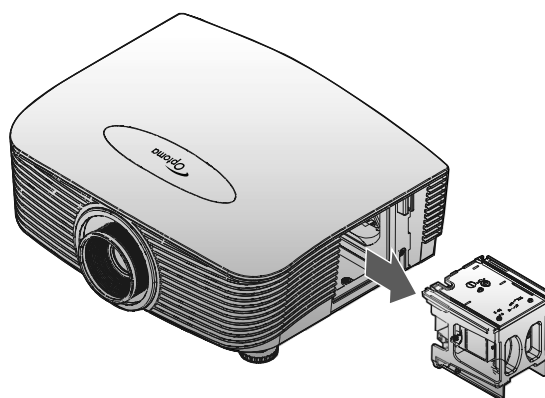
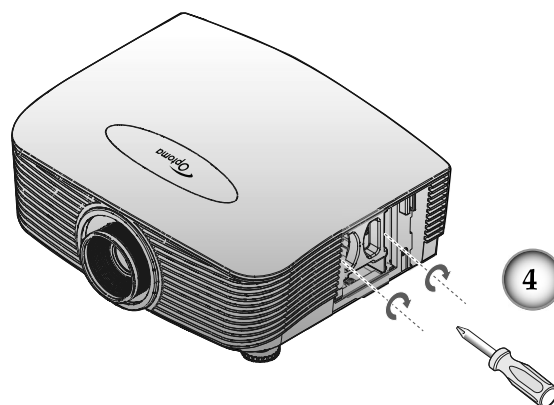
ランプの交換

投写用ランプが切れたら交換する必要があります。認定された交換部品で交換を行なってください。部品はお買い上げ店で注文することができます。

重要：

- ランプは一定量の水銀を含み、地域の条例に従って処理する必要があります。
- 新しいランプのガラス表面に触れないようにしてください。触れると使用寿命が短くなることがあります。

警告：

- ランプ交換の少なくとも1時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。

1. 電源ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフに切り替えます。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. ランプカバーを解除します。
5. カバーを引っ張って、取り外します。
6. ドライバーを使用して、ランプモジュールからねじを取り外します。
7. ランプモジュールを取り出します。

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

ランプを交換した後、ランプ使用時間をリセットする必要があります。詳しくは 65 ページを参照してください。

プロジェクタのお手入れ

プロジェクタをきれいにし、ほこりやすすを取り除くことはトラブルのない動作につながります。

警告：

- お手入れの少なくとも1時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。
- お手入れには湿らせた布のみを使用してください。プロジェクタ上の通気口に水が入らないようにしてください。
- お手入れの際に少量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、使用する前に数時間通気のよい場所に電源を挿入せず放置してください。
- お手入れの際に大量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、プロジェクタのメンテナンスを依頼してください。

レンズのお手入れ

ほとんどのカメラ店で光学レンズクリーナーを購入することができます。次の手順に従い、プロジェクタレンズのお手入れを行なってください。

1. 少量の光学レンズクリーナーをきれいで柔らかい布につけます。（レンズに直接クリーナーをつけないでください。）
2. 円を描くようにレンズを軽く拭きます。

   注意：

   - 研磨クリーナーやシンナーを使用しないでください。
   - プロジェクタケースの変色や色落ちを防ぐため、クリーナーがケースに付着しないようにしてください。

ケースのお手入れ

次の手順に従い、プロジェクタケースのお手入れを行なってください。

1. きれいな湿らせた布でほこりを拭取ります。
2. お湯と薄い洗剤（食器洗い用洗剤など）で布を湿らせ、ケースを拭きます。
3. 布の洗剤を洗い落とし、再度プロジェクタを拭きます。

注意：

ケースの変色や色落ちを防ぐため、研磨剤やアルコールベースのクリーナーを使用しないでください。

互換モード

ビデオ互換性

NTSC	NTSC M/J、3.58MHz、4.43MHz	
PAL	PAL B/D/G/H/I/M/N, 4.43MHz	
SECAM	SECAM B/D/G/K/K1/L、4.25/4.4 MHz	
SDTV	480i/p、576i/p	
HDTV	720p(50/60Hz)、1080i(50/60Hz)、1080P(50/60Hz)	

ビデオタイミングの詳細説明

❖ ワイドスクリーン解像度(WXGA) の場合、互換性の対応はノートブック/PC のモデルによります。

信号	解像度	リフレッシュ速度(Hz)	注記
TV(NTSC)	720 X 480	60	Composite Video（ビデオ）/S-Video（Sビデオ）の場合
TV(PAL、SECAM)	720 X 576	50	
SDTV(480i)	720 X 480	60	コンポーネントの場合
SDTV(480p)	720 X 480	60	
SDTV(576i)	720 X 576	50	
SDTV(576p)	720 X 576	50	
HDTV(720p)	1280 X 720	50/60	
HDTV(1080i)	1920 X1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 X1080	24/50/60	

コンピュータの互換性 - VESA標準

コンピュータの信号（アナログRGB互換

信号	解像度	リフレッシュ速度(Hz)	Macに関する注記
VGA	640 x 480	60/67/72/85	Mac 60/72/85
SVGA	800 x 600	56/60(*1)/72/85/120(*1)	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	50/60(*1)/70/75/85/120(*1)	Mac 60/70/75/85
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60(*1)/120(*1)	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 60/75/85
	1280 x 800	50/60	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/50/60	Mac 60

(*1) frame squencial 3Dをサポートします。

❖ ネーティブ解像度は50Hzをサポートします。

HDMI/DVI-Dの入力信号

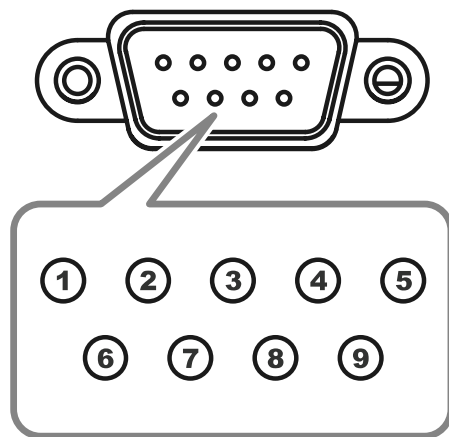
信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Macに関する注記
VGA	640 x 480	60	Mac 60/72/85
SVGA	800 x 600	60(*1)/72/85/120(*1)	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	50/60(*1)/70/75/85/120(*1)	Mac 60/70/75/85
SDTV(480i)	720 x 480	60	
SDTV(480p)	720 x 480	60	
SDTV(576i)	720 x 576	50	
SDTV(576p)	720 x 576	50	
WSVGA (1024 x 600)	1024 x 600	60 (*1)	
HDTV(720p)	1280 x 720	50(*1)/60/120(*1)	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
	1280 x 800	60/50	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080i)	1920 x 1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/30/50/60	Mac 60

(*1) frame squencial 3Dをサポートします。

True 3Dビデオ互換表

<table>
<tr><th>入力解像度</th><th colspan="3">入力タイミング</th></tr>
<tr><td rowspan="8">HDMI 1.4a
3D入力</td><td>1280 x 720p @50Hz</td><td colspan="2">Top and Bottom</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @60Hz</td><td colspan="2">Top and Bottom</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @50Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @60Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @50Hz</td><td colspan="2">Side By Side（半分）</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @60Hz</td><td colspan="2">Side By Side（半分）</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @24Hz</td><td colspan="2">Top and Bottom</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @24 Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="9">HDMI 1.3</td><td>1920 x 1080i @50Hz</td><td rowspan="4">Side By Side
（半分）</td><td rowspan="4">Side By Side モードはオンです</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @60Hz</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @50Hz</td><td rowspan="4">Top and Bottom</td><td rowspan="4">Tabモードはオンです</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @60Hz</td></tr>
<tr><td>480i</td><td>HQFS</td><td></td></tr>
</table>

RS232 コマンド

RS232 コネクタ

ピン番号	仕様
1	N/A
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	N/A

RS232 プロトコル機能リスト

RS232 コマンド表

Baud Rate : 9600
Data Bits: 8
Parity: None
Stop Bits: 1
Flow Control : None
UART16550 FIFO: Disable
Projector Return (Pass): P
Projector Return (Fail): F

Note : There is a <CR> after all ASCII commands
0D is the HEX code for <CR> in ASCII code

XX=01-99, projector's ID, XX=00 is for all projectors

SEND to projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON	
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 0D	Power OFF	(0/2 for backward compatible)
~XX00 1 ~nnnn	7E 30 30 30 30 20 31 20 a 0D	Power ON with Password	~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30) ~9999 (a=7E 39 39 39 39)
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Resync	
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 0D	AV Mute	On
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 0D	Mute	On
~XX03 0	7E 30 30 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 0D	Freeze	
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 0D	Unfreeze	(0/2 for backward compatible)
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 0D	Zoom Plus	
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 0D	Zoom Minus	
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D	Direct Source Commands	HDMI
~XX12 2	7E 30 30 31 32 20 32 0D		DVI-D
~XX12 4	7E 30 30 31 32 20 34 0D		BNC
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA1
~XX12 6	7E 30 30 31 32 20 36 0D		VGA 2
~XX12 8	7E 30 30 31 32 20 38 0D		VGA1 Component
~XX12 9	7E 30 30 31 32 20 39 0D		S-Video
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video
~XX12 13	7E 30 30 31 32 20 31 33 0D		VGA 2 Component
~XX12 14	7E 30 30 31 32 20 31 34 0D		Component
~XX12 20	7E 30 30 31 32 20 32 30 0D		DisplayPort
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D	Display Mode	Presentation
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Movie
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		sRGB
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User
~XX20 7	7E 30 30 32 30 20 37 0D		Blackboard
~XX20 13	7E 30 30 32 30 21 33 0D		DICOM SIM.
~XX20 9	7E 30 30 32 30 20 39 0D		3D
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness	n = 1 (a=31) ~ 15 (a=31 35)
~XX44 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Tint	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX45 n	7E 30 30 34 35 20 a 0D	Color	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX327 n	7E 58 58 33 32 37 20 a 0D	Color Matching	Red Hue n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX328 n	7E 58 58 33 32 38 20 a 0D		Green Hue n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX329 n	7E 58 58 33 32 39 20 a 0D		Blue Hue n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX330 n	7E 58 58 33 33 30 20 a 0D		Cyan Hu n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX331 n	7E 58 58 33 33 31 20 a 0D		Yellow Hue n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX332 n	7E 58 58 33 33 32 20 a 0D		Magenta Hue n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX333 n	7E 58 58 33 33 33 20 a 0D		Cyan Hue n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX333 n	7E 58 58 33 33 33 20 a 0D		Red Saturation n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX334 n	7E 58 58 33 33 34 20 a 0D		Green Saturation n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX335 n	7E 58 58 33 33 35 20 a 0		Blue Saturation n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX336 n	7E 58 58 33 33 36 20 a 0D		Cyan Saturation n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX337 n	7E 58 58 33 33 37 20 a 0D		Yellow Saturation n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX338 n	7E 58 58 33 33 38 20 a 0D		Magenta Saturationn n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX339 n	7E 58 58 33 33 39 20 a 0D		Red Gain n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX340 n	7E 58 58 33 34 30 20 a 0D		Green Gain n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX341 n	7E 58 58 33 34 31 20 a 0D		Blue Gain n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX342 n	7E 58 58 33 34 32 20 a 0D		Cyan Gain n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX343 n	7E 58 58 33 34 33 20 a 0D		Yellow Gain n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX344 n	7E 58 58 33 34 34 20 a 0D		Magenta Gain n=--127(a=2d 31 32 37)~127(a=31 32 37)
~XX345 n	7E 58 58 33 34 35 20 a 0D		White/R n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX346 n	7E 58 58 33 34 36 20 a 0D		White/G n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX347 n	7E 58 58 33 34 37 20 a 0D		White/B n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX215 1	7E 30 30 32 31 35 20 31 0D		Reset
~XX24 n	7E 30 30 32 34 20 a 0D	RGB Gain/Bias	Red Gain n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX25 n	7E 30 30 32 35 20 a 0D		Green Gain n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX26 n	7E 30 30 32 36 20 a 0D		Blue Gain n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX27 n	7E 30 30 32 37 20 a 0D		Red Bias n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX28 n	7E 30 30 32 38 20 a 0D		Green Bias n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX29 n	7E 30 30 32 39 20 a 0D		Blue Bias n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX33 n	7E 30 30 33 33 20 a 0D		Reset n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX34 n	7E 30 30 33 34 20 a 0D	BrilliantColor™	n = 1 (a=31) ~ 10 (a=31 30)
~XX196 n	7E 30 30 31 39 36 20 a 0D	Noise Reduction	n = 1 (a=31) ~ 10 (a=31 30)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Gamma	Film
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics
~XX35 5	7E 30 30 33 35 20 35 0D		1.8
~XX35 6	7E 30 30 33 35 20 36 0D		2.0
~XX35 7	7E 30 30 33 35 20 37 0D		2.2

メモ

❖ 各モデルのアプリケーションが異なるため。機能はお買い上げのモデルによります。

~XX35 8	7E 30 30 33 35 20 38 0D		2.6
~XX35 9	7E 30 30 33 35 20 39 0D		3D
~XX36 3	7E 30 30 33 36 20 30 0D	Color Temp.	Warm
~XX36 0	7E 30 30 33 36 20 31 0D		Standard
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Cool
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold
~XX37 1	7E 30 30 33 37 20 31 0D	Color Space	Auto
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D		RGB\ RGB(0-255)
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YUV
~XX37 4	7E 30 30 33 37 20 34 0D		RGB(16 - 235)
~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal (RGB)	Frequency n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By signal
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) By signal
~XX91 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D		Automatic Enable
~XX91 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D		Disable
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX200 n	7E 30 30 32 30 30 20 a 0D	Signal(Video)	White Level
~XX201 n	7E 30 30 32 30 30 21 a 0D		Black Level
~XX204 1	7E 30 30 32 30 30 21 31 0D		0
~XX204 0	7E 30 30 32 30 30 21 30 0D		7.5
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3
~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9
~XX60 3	7E 30 30 36 30 20 33 0D		16:10(WXGA/WUXGA Model)
~XX60 5	7E 30 30 36 30 20 35 0D		LBX
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 36 0D		Native
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Auto
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Digital Zoom	Zoom n = -5 (a=2D 35) ~ 25 (a=32 35)
~XX504 n	7E 58 58 35 30 34 20 a 0D		H Zoom n = 0 (a=30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX505 n	7E 58 58 35 30 35 20 a 0D		V Zoom n = 0 (a=30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Edge mask	n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX63 n	7E 30 30 36 33 20 a 0D	H Image Shift	n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift	n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone	n = -40 (a=2D 34 30) ~ 40 (a=34 30)
~XX230 1	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	DLP-Link
~XX230 3	7E 30 30 32 33 30 20 33 0D		IR
~XX400 0	7E 30 30 34 30 30 20 30 0D	3D→2D	3D
~XX400 1	7E 30 30 34 30 30 20 31 0D		L
~XX400 2	7E 30 30 34 30 30 20 32 0D		R
~XX405 0	7E 30 30 34 30 35 20 30 0D	3D Format	Auto
~XX405 1	7E 30 30 34 30 35 20 31 0D		SBS
~XX405 2	7E 30 30 34 30 35 20 32 0D		Top and Bottom
~XX405 3	7E 30 30 34 30 35 20 33 0D		Frame sequential
~XX231 0	7E 30 30 32 33 31 20 30 0D	3D Sync Invert	On
~XX231 1	7E 30 30 32 33 31 20 31 0D		Off
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek
~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese
~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic
~XX70 21	7E 30 30 37 30 20 32 31 0D		Thai
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish
~XX70 23	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Farsi
~XX70 25	7E 30 30 37 30 20 32 35 0D		Vietnamese
~XX70 26	7E 30 30 37 30 20 32 36 0D		Indonesian
~XX70 27	7E 30 30 37 30 20 32 37 0D		Romanian
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Centre
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right

(WXGA/WUXGA Model)

Command	Code	Function	Item	Value
~XX90 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D	Screen Type		16:10
~XX90 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D			16:9

Command	Code	Function	Item	Value
~XX77 n	7E 30 30 37 37 20 aabbcc 0D	Security	Security Timer	Month/Day/Hour n = mm/dd/hh
				mm= 00 (aa=30 30) ~ 12 (aa=31 32)
				dd = 00 (bb=30 30) ~ 30 (bb=33 30)
				hh= 00 (cc=30 30) ~ 24 (cc=32 34)
~XX78 1	7E 30 30 37 38 20 31 0D		Security Settings	On
~XX78 0 ~nnnn	7E 30 30 37 38 20 32 20 a 0D			Off(0/2 for backward compatible)
	~nnnn = ~0000 (a=7E 30 30 30 30)			~9999 (a=7E 39 39 39 39)

Command	Code	Function	Item	Value
~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID		n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)

Command	Code	Function	Item	Value
~XX80 1	7E 30 30 38 30 20 31 0D	Mute		On
~XX80 0	7E 30 30 38 30 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX310 0	7E 30 30 33 31 30 20 30 0D	Internal Speaker		Off
~XX310 1	7E 30 30 33 31 30 20 31 0D			On
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	Volume(Audio)		n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)
~XX89 0	7E 30 30 38 39 20 30 0D	Audio Input		Default
~XX89 1	7E 30 30 38 39 20 31 0D			Audio1
~XX89 3	7E 30 30 38 39 20 33 0D			Audio2
~XX89 4	7E 30 30 38 39 20 34 0D			Audio3
~XX89 5	7E 30 30 38 39 20 35 0D			Audio4

Command	Code	Function	Item	Value
~XX82 1	7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo		Optoma
~XX82 2	7E 30 30 38 32 20 32 0D			User
~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 33 0D			Neutral
~XX83 1	7E 30 30 38 33 20 31 0D	Logo Capture		
~XX88 0	7E 30 30 38 38 20 30 0D	Closed Captioning		Off
~XX88 1	7E 30 30 38 38 20 31 0D			cc1
~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 32 0D			cc2
~XX87 1	7E 30 30 38 37 20 31 0D	Network Status(Read only Return :Oka, a=0/1 Disconnected/ Connected.		
~XX87 3	7E 30 30 38 37 20 33 0D			IP Address(Read only) Return: “Okaaa_bbb_ccc_ddd”
~XX454 0/2	7E 30 30 34 35 34 20 30(32) 0D	Crestron		Off
~XX454 1	7E 30 30 34 35 34 20 31 0D			On
~XX455 0/2	7E 30 30 34 35 35 20 30(32) 0D	Extron		Off
~XX455 1	7E 30 30 34 35 35 20 31 0D			On
~XX456 0/2	7E 30 30 34 35 36 20 30(32) 0D	PJLink		Off
~XX456 1	7E 30 30 34 35 36 20 31 0D			On
~XX457 0/2	7E 30 30 34 35 37 20 30(32) 0D	AMX Device Discovery		Off
~XX457 1	7E 30 30 34 35 37 20 31 0D			On
~XX458 0/2	7E 30 30 34 35 38 20 30(32) 0D	Telnet		Off
~XX458 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D			On
~XX459 0/2	7E 30 30 34 35 38 20 30(32) 0D	HTTP		Off
~XX459 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D			On

Command	Code	Function	Item	Value
~XX39 1	7E 30 30 33 39 20 31 0D	Input Source		HDMI
~XX39 2	7E 30 30 33 39 20 32 0D			DVI-D
~XX39 3	7E 30 30 33 39 20 34 0D			BNC
~XX39 5	7E 30 30 33 39 20 35 0D			VGA1
~XX39 6	7E 30 30 33 39 20 36 0D			VGA2
~XX39 8	7E 30 30 33 39 20 38 0D			Component
~XX39 9	7E 30 30 33 39 20 39 0D			S-video
~XX39 10	7E 30 30 33 39 20 31 30 0D			Video
~XX39 15	7E 30 30 33 39 20 31 35 0D			DisplayPort
~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock		On
~XX100 0	7E 30 30 31 30 30 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX101 1	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude		On
~XX101 0	7E 30 30 31 30 31 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX102 1	7E 30 30 31 30 32 20 31 0D	Information Hide		On
~XX102 0	7E 30 30 31 30 32 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX103 1	7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Keypad Lock		On
~XX103 0	7E 30 30 31 30 33 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX348 0	7E 30 30 33 34 38 20 30 0D	Display Mode Lock		Off (0/2 for backward compatible)
~XX348 1	7E 30 30 33 34 38 20 31 0D			On
~XX195 0	7E 30 30 31 39 35 20 30 0D	Test Pattern		None
~XX195 1	7E 30 30 31 39 35 20 31 0D			Grid(White)
~XX195 3	7E 30 30 31 39 35 20 33 0D			Grid(Green)
~XX195 4	7E 30 30 31 39 35 20 34 0D			Grid(Magenta)
~XX195 2	7E 30 30 31 39 35 20 32 0D			White
~XX192 0	7E 30 30 31 39 32 20 30 0D	12V Trigger		Off
~XX192 1	7E 30 30 31 39 32 20 31 0D			On
~XX192 3	7E 30 30 31 39 32 20 33 0D			Auto 3D
~XX11 0	7E 30 30 31 31 20 30 0D	IR Function		Off
~XX11 1	7E 30 30 31 31 20 31 0D			On

Command	Code	Function	Item	Value
~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color		Blue
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D			Black
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D			Red
~XX104 4	7E 30 30 31 30 34 20 34 0D			Green
~XX104 5	7E 30 30 31 30 34 20 35 0D			White

Command	Code	Function	Item	Value
~XX105 1	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D	Advanced	Direct Power On	On
~XX105 0	7E 30 30 31 30 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX113 0	7E 30 30 31 31 33 20 30 0D		Signal Power On	Off
~XX113 1	7E 30 30 31 31 33 20 31 0D			On
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min)	n = 0 (a=30) ~ 180 (a=31 38 30)

(5 minutes for each step).
~XX107 n 7E 30 30 31 30 37 20 a 0D Sleep Timer (min) n = 0 (a=30) ~ 995 (a=39 39 35)

(30 minutes for each step).
~XX114 1 7E 30 30 31 31 34 20 31 0D Power Mode(Standby) Active (<=0.5W)
~XX114 0 7E 30 30 31 31 34 20 30 0D Eco. (0/2 for backward compatible)

~XX109 1 7E 30 30 31 30 39 20 31 0D Lamp Reminder On
~XX109 0 7E 30 30 31 30 39 20 30 0D Off (0/2 for backward compatible)
~XX110 1 7E 30 30 31 31 30 20 31 0D Brightness Mode Bright
~XX110 2 7E 30 30 31 31 30 20 32 0D Eco
~XX110 5 7E 30 30 31 31 30 20 35 0D Power
~XX326 n 7E 30 30 33 32 36 20 a 0D Power 350W/340W/330W/320W/310W/300W/290W/280W
(n=0/n=1/n=2/n=3/n=4/n=5/n=6/n=7/n=8)
~XX111 1 7E 30 30 31 31 31 20 31 0D Lamp Reset Yes
~XX111 0 7E 30 30 31 31 31 20 30 0D No (0/2 for backward compatible)

~XX112 1 7E 30 30 31 31 32 20 31 0D Reset Yes

~XX99 1 7E 30 30 39 39 20 31 0D RS232 Alert Reset Reset System Alert
~XX210 n 7E 30 30 32 30 30 20 n 0D Display message on the OSD n: 1-30 characters

---

SEND to emulate Remote
~XX140 10 7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D Up
~XX140 11 7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D Left
~XX140 12 7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D Enter (for projection MENU)
~XX140 13 7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D Right
~XX140 14 7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D Down
~XX140 15 7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D Keystone +
~XX140 16 7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D Keystone –
~XX140 17 7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D Volume –
~XX140 18 7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D Volume +
~XX140 19 7E 30 30 31 34 30 20 31 39 0D Brightness
~XX140 20 7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D Menu
~XX140 21 7E 30 30 31 34 30 20 32 31 0D Zoom
~XX140 28 7E 30 30 31 34 30 20 32 38 0D Contrast
~XX140 47 7E 30 30 31 34 30 20 34 37 0D Source

SEND from projector automatically

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
when Standby/Warming/Cooling/Out of Range/Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/Lamp Hours Running Out/Cover Open			INFOn	n : 0/1/2/3/4/6/7/8/ = Standby/Warming/Cooling/Out of Range/Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/Lamp Hours Running Out/Cover Open

READ from projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	OKn	n: 0/1/2/3/4/5/7/10/15 = None/DVI/VGA1/VGA2/S-Video/Video/BNC/HDMI/Component/DisplayPor t
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Sofware Version	OKdddd	dddd: FW version
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	OKn	n : 0/1/2/3/4/7/9/12 None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/Blackboard/DICOM SIM./3D
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n : 0/1 = Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	
~XX126 1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	Contrast	OKn	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Format	OKn	n: 1/2/3/5/6/7 =4:3/16:9/16:10/LBX/Native/Auto

*16:9 or 16:10 depend on Screen Type setting

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	OKn	n :3/0/1/2 = Warm/Standard/Cool/Cold
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n : 0/1/2/3 = Front-Desktop/ Rear-Desktop/ Front-Ceiling/ Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	Information	OKabbbbccdddde	a : 0/1 = Off/On bbbb: LampHour cc: source 00/01/02/03/04/05/07/10/15 = None/DVI/VGA1/VGA2/S-Video/Video/BNC/HDMI/Component/DisplayPort dddd: FW version e : Display mode 0/1/2/3/4/7/9/10= None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/Blackboard/3D/DICOM.
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	n:1/2/3=X605/W505/EH505
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Hours	OKbbbb	bbbb: LampHour
~XX108 2	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Cumulative Lamp Hours	OKbbbbb	bbbbb: (5 digits) Total Lamp Hours
~XX87 1	7E 30 30 38 37 20 31 0D	Network Status	Okn	n=0/1 Disconnected/Connected
~XX87 3	7E 30 30 38 37 20 33 0D	IP Address	Okaaa_bbb_ccc_ddd	

Telnetコマンド

- ポート: 23/1023/2023の3ポートのサポート
- マルチ接続: プロジェクタは同時に異なるポートからコマンドを受け取ることができました
- コマンドフォーマット: RS232コマンドフォーマットに従います（ASCIIとHEのサポート）
- コマンドレスポンス: RS232復帰メッセージに従います。

Lead Code	Projector ID		Command ID			Space	Variable	Carriage Return
~	X	X	X	X	X		n	CR
Fix code One Digit~	00		Defined by Optoma 2 or 3 Digit. See the Follow content			One Digit	Per item Definition	Fix code One Digit

❖ WXGA（ワイドスクリーン解像度）の場合、互換性サポートはノートPC/PCモデルに依存します。

AMX Device Discoveryコマンド

- DP: 239.255.250.250
- ポート番号 : 9131
- 以下のような各UDPブロードキャスト情報は、約40秒で更新されます

Command	Description	Remark (Parameter)
Device-UUID	MAC address (Hex value without' ':' separator)	12 digits
Device-SKDClass	The Duet DeviceSdk class name	VideoProjector
Device-Make	Maker name	MakerPXLW
Device-Model	Model name	Projector

Command	Description	Remark (Parameter)
Config-URL	Device's IP address LAN IP address is shown up if LAN IP address is valid. Wireless LAN IP address is shown up if Wireless LAN IP address is valid.	http://xxx.xxx.xxx.xxx/index.html
Revision	The revision must follow a major.minor.micro scheme. The revision is only increased if the command protocol is modified.	1.0.0

- WXGA（ワイドスクリーン解像度）の場合、互換性サポートはノートPC/PCモデルに依存します。
- このAMX機能はAMX Device Discoveryのみをサポートします。
- ブロードキャスト情報は有効なインターフェースを通してのみ送信されます。
- LANとワイヤレスLANのインターフェースはどちらも同時にサポートできます。
- 「ビーコンバリデータ」が使用された場合。以下の情報に注意してください。

PJLink™のサポートされるコマンド

以下の表では、PJLink™プロトコルを使用してプロジェクタをコントロール右するコマンドを示しています。

コマンド説明備考（パラメータ）

Command	Description	Remark (Parameter)
POWR	Power control	0 = Standby
		1 = Power on
POWR?	Inquiry about the power state	0 = Standby
		1 = Power on
		2 = Cooling down
		3 = Warming up
INPT	INPT Input switching	11 = VGA1

Command	Description	Remark (Parameter)
INPT?	Inquiry about input switching	12 = VGA2
		13 = Component
		14 = BNC
		21 = VIDEO
		22 = S-VIDEO
		31 = HDMI 1
		32 = HDMI 2
AVMT	Mute control	30 = Video and audio mute disable
AVMT?	Inquiry about the mute state	31 = Video and audio mute enable
ERST?	Inquiry about the error state	1st byte: Fan error, 0 or 2
		2nd byte: Lamp error, 0 to 2
		3rd byte: Temperature error, 0 or 2
		4th byte: Cover open error, 0 or 2
		5th byte: Filter error, 0 or 2
		6th byte: Other error, 0 or 2
		0 to 2 mean as follows: 0 = No error detected, 1 = Warning, 2 = Error
LAMP?	Inquiry about the lamp state	1st value (1 to 5 digits): Cumulative LAMP operating time (This item shows a lamp operating time (hour) calculated based on that LAMP MODE is LOW.)
		2nd value: 0 = Lamp off, 1 = Lamp on
INST?	Inquiry about the available inputs	The following value is returned. “11 12 21 22 31 32”
NAME?	Inquiry about the projector name	The projector name set on the NETWORK menu or the ProjectorView Setup window is returned
INF1?	Inquiry about the manufacturer name	“Optoma” is returned.
INF2?	Inquiry about the model name	“EH7700” is returned.

メモ

❖ このプロジェクタはJBMIA PJLink™ Class 1の仕様に完全に適合しています。PJLink™ Class 1で定義されたすべてのコマンドをサポートし、コンプライアンスがPJLink™ 標準仕様バージョン1.0で確認されました。

Command	Description	Remark (Parameter)
INF0?	Inquiry about other information	No other information is available. No parameter is returned.
CLSS?	Inquiry about the class information	“1” is returned.

Trademarks

- DLP is trademarks of Texas Instruments.
- IBM is a trademark or registered trademark of International Business Machines Corporation.
- Macintosh, Mac OS X, iMac, and PowerBook are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Microsoft, Windows, Windows Vista, Internet Explorer and PowerPoint are either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
- AMX Device Discovery
  The pro.jector is monitored and controlled by the control system of AMX.
- Crestron RoomView Connected™
  The projector is monitored and controlled by the control system and software of Crestron Electronics, Inc.
- PJLink™
  PJLink trademark is a trademark applied for registration or is already registered in Japan, the United States of America and other countries and areas.
  This projector supports standard protocol PJLink™ for projector control and you can control and monitor projector’s operations using the same application among projectors of different models and different manufacturers.
- Other product and company names mentioned in this user’s manual may be the trademarks or registered trademarks of their respective holders.
- About Crestron RoomView Connected™
  Electronics, Inc. to facilitate configuration of the control system of Crestron and its target devices.

  For details, see the website of Crestron Electronics, Inc.
  URL http://www.crestron.com
  URL http://www.crestron.com/getroomview/

天井取付

天吊金具をご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ネジの種類：M4
- ネジの長さ最長：11 mm
- ネジの長さ最短：9 mm

プロジェクタの天井取付は次の図を参照してください。

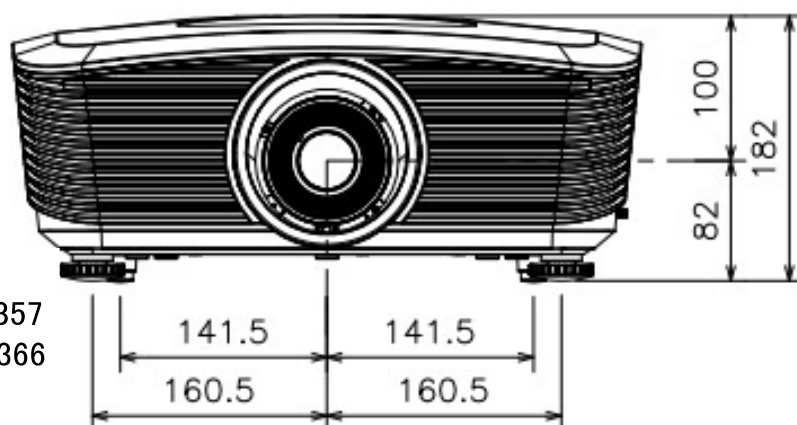
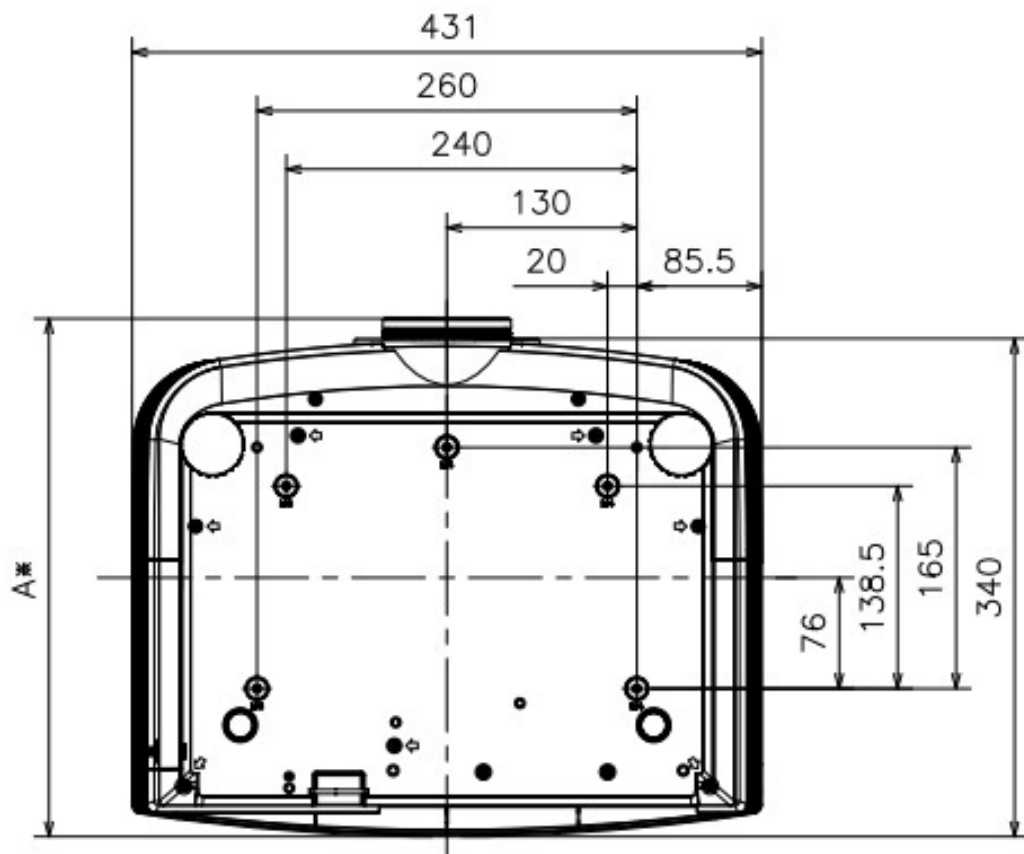
本体破損の原因となりますので、ねじの締付けは0.78N・m以上の締付けトルクで行わないでください。

また、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

❖ 誤った取り付けの結果による破損は保証の対象となりません。

❖ 天井とプロジェクタ底面の間に少なくとも 10 cm 間隔をあけてください。

❖ エアコンやヒーターなど熱源の近くにプロジェクタを配置しないでください。過熱はプロジェクタの電源を落とす場合があります。

A※

標準レンズ	(BX-DL200) 353 ～ 357
長焦点レンズ	(BX-DL300) 356 ～ 366
短焦点レンズ	(BX-DL080) 340

Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
Tel : 888-289-6786　Fax : 510-897-8601
www.optomausa.com　メールアドレス : services@optoma.com

カナダ

2420 Meadowpine Blvd., Suite #105
Mississauga, ON, L5N 6S2, Canada
Tel : 888-289-6786　Fax : 510-897-8601
www.optoma.ca　メールアドレス : services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
電話 : +44 (0) 1923 691 800　Fax : +44 (0) 1923 691 888
www.optoma.eu
Service Tel : +44 (0)1923 691865
メールアドレス : service@tsc-europe.com

フランス

Bâtiment E 81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
電話 : +33 1 41 46 12 20　Fax : +33 1 41 46 94 35
メールアドレス : savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid, Spain
電話 : +34 91 499 06 06　Fax : +34 91 670 08 32

ドイツ

Werftstrasse 25 D40549
Düsseldorf, Germany
電話 : +49 (0) 211 506 6670　Fax : +49 (0) 211 506 66799
メールアドレス : info@optoma.de

スカンジナビア

Optoma Scandinavia AS
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway
電話 : +4732988990 Fax : +4732988999
メールアドレス : info@optoma.no

南米

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
Tel : 888-289-6786 Fax : 510-897-8601
www.optomausa.com.br メールアドレス : www.optomausa.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD
4F, Minu Bldg.3.tw3-14, Kangnam-Ku, seoul, 135-815, KOREA
電話 : +82+2+34430004 Fax : +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
サポートセンター:0120-380-495
E-mail :info@os-worldwide.com www.os-worldwide.com

Taiwan

231, 新北市新店區北新路3段215號12樓
Tel : +886-2-8911-8600 Fax : +886-2-8911-9770
www.optoma.com.tw asia.optoma.com
Service : services@optoma.com.tw

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre, 79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan, Kowloon, Hong Kong
電話 : +852-2396-8968 Fax : +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd., Changning District
Shanghai, 200052, China
電話 : +86-21-62947376 Fax : +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制及び安全に関する情報

この付録にはお使いプロジェクタに関する一般情報を記載しています。

FCC 情報

この装置はテストの結果、FCC規制パート15によるクラスBデジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅環境に設置した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。

但し、一定の設置条件で妨害が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を起こす場合（この装置のオフとオンを切り換えることで判別可能）、ユーザは次のうち一つ以上の対策を行い、干渉を正す必要があります：

- 受信アンテナの方向または位置を変えます。
- 本装置と受信機の間の距離を離します。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回路上にあるコンセントに本装置を接続します。
- 販売店または経験のあるラジオまたはテレビ技術者に問い合わせます。

注意：シールドケーブル

他のコンピュータ装置への接続はシールドケーブルを使い、FCC 規制への準拠性を維持する必要があります。

注意：

製造元により明示的に許可されていない変更または修正を行うと、連邦通信委員会により認められた本プロジェクタを操作するためのユーザ権限が無効になります。

操作条件

この装置はFCC規制パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 本装置が有害な電波干渉を引き起こさないこと、そして
2. 本装置が不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

注意：カナダのユーザ

本クラスBデジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国向け準拠性の宣言

- EMC 指令2004/108/EC （修正含む）
- 低電圧指令 2006/95/EC
- R & TTE 指令 1999/5/EC （製品に無線機能がある場合）

廃棄についての説明

廃棄時は本電子機器をゴミ箱に捨てないでください。汚染を最少にし、地球環境を守るため、リサイクルしてください。